

令和5年度 佐賀市地域づくり交流会

実績報告

持続可能なまちづくり ~明るい未来へつなぐバトン~

1 開催概要・実績

日時 令和6年1月27日(土) 9:30~12:00

会場 メートプラザ佐賀(佐賀勤労者総合福祉センター)

目的 地域づくりに関わる多様な主体(まちづくり協議会、市民活動団体、企業、大学など)が自らの役割や連携のあり方についての認識を深めるとともに、今後の事業の広がりや協働の可能性を見出し、実践につなげる。

来場者数

種別	令和4年度	令和5年度
まちづくり協議会	143	172
市民活動団体	48	41
企業	19	18
大学	10	7
PTA		14
その他・所属なし	45	43
合計	265人	295人

参加団体数(ブース出展・ポスター展示)

種別	令和4年度	令和5年度
まちづくり協議会	31	31
市民活動団体	12	11
企業	7	6
大学	3	3
合計	53	51

【R5】ブース出展団体…29団体

(まち協:11 市民活動団体:9 企業:6 大学:3)

ファシリテーター

花園大学 社会福祉学部 准教授 深川 光耀 氏

ふかがわ こうよう



当日のプログラム

- ①基調講演 ②事例発表 ③アイスブレイク
- ④さが・まちづくり広場 ⑤振り返り・まとめ

①基調講演

ファシリテーターの深川氏による基調講演。『私からはじまる協働のまちづくり～子育て世代の特徴からみた地域活動への参加と担い手としての可能性～』をテーマに、子育て世代の地域活動に対する想いや、私発協働についてお話しいただきました。

※私発協働…<私>から始まり、まわりをゆるやかに引きつけ、共に力を発揮しあうことを通じて『公共の幸福』に導く一連のプロセス

子育て世代が参加できない(しにくい)要因	子育て世代の地域活動に対する評価	子育て世代が関わりやすい地域活動のかたち	地域における私発協働
<p>1位: 時間がない(63.2%)</p> <p>2位: 何をしたらいいかわからない(23.1%)</p> <p>3位: 同世代の仲間がない(21.4%)</p> <p>「時間がない」「わからない」「仲間いない」3つの「ない」</p>	<p>●地域活動・まちづくり活動を、過半数が評価(他の世代と比較しても)</p> <p>●しかし、加入率、手伝った経験等は低い</p> <p>→大事だと認識、関わりは少ない</p>	<p>①自身の子どもに関係する活動であること</p> <p>②子育て期に直面する課題に関するテーマの活動であること</p> <p>③包括的でなく、目的や活動内容が明確であること</p> <p>④短期集中、完結型の活動であること</p> <p>⑤ともに取り組む同世代の仲間がいること</p>	<p><私>個人の想いの芽を大切にしながら、</p> <p>地縁組織(町内会等)が、見守りつつ(バックアップし)育てる姿勢</p> <p>※人的つながり、地域資源(活動資金、会場、広報)、信頼性の付与</p>

②事例発表 春日北まちづくり協議会の安富千鶴さん、佐賀県防災士会の溝上良雄さんから、各団体の取り組み事例を発表していただきました。



③アイスブレイク 『4マス自己紹介』冊子の自己紹介シートを使ったアイスブレイクを行いました。

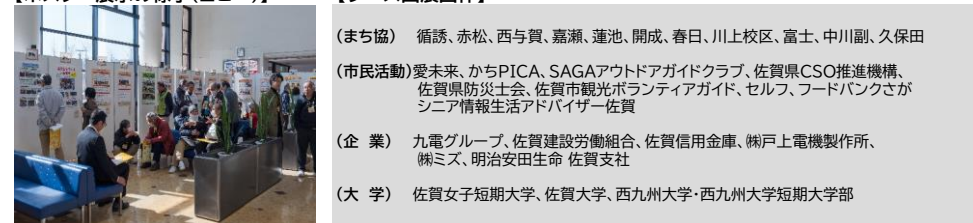


④さが・まちづくり広場 今年度も29団体がブースで活動紹介を行いました。また、ロビーには22団体の活動紹介ポスターを展示しました。



【ポスター展示の様子(ロビー)】

【ブース出展団体】



- (まち協) 循読、赤松、西与賀、嘉瀬、蓮池、開成、春日、川上校区、富士、中川副、久保田
- (市民活動) 愛未来、かちPICA、SAGAアウトドアガイドクラブ、佐賀県CSO推進機構、佐賀県防災士会、佐賀市観光ボランティアガイド、セルフ、フードバンクさが、シニア情報生活アドバイザー会
- (企業) 九電グループ、佐賀建設労働組合、佐賀信用金庫、瀬戸上電機製作所、頼ミズ、明治安田生命 佐賀支社
- (大学) 佐賀女子短期大学、佐賀大学、西九州大学・西九州大学短期大学部

⑤振り返り・まとめ



- ①さんかしゃ同士の出会いから、手の取り合いに
- 活動のWIFIと向(目標志向)、競争から共創へ
- 「あのひととだったらできるだろう」という自信(得意な自分の)
- ②がんばらんば一だけではなく、気の合う仲間との楽しさを大事に
- 地縁や縁に基いて、気持(気の合う仲間との縁を大事に)
- ③しはつきょうどう(私発協働)を今日から、私たちが



2 来場者アンケート結果

回答者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	21	153	174

※R3はライブ配信のみの開催。アンケートの回答もGoogleフォームからのみ受付。

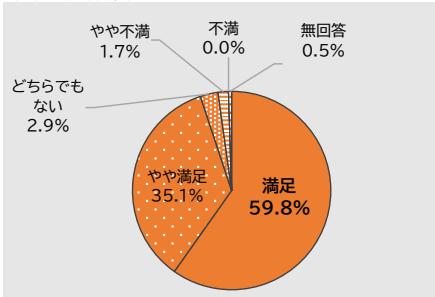
来場者数	回答者数	回答率
295	174	59.0%

●●●●●●●●▶ 令和4年度の回答率:54.3%

本日の内容はいかがでしたか。

(1)基調講演

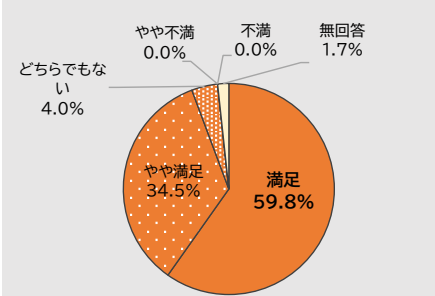
○…良かった点 △…改善を要する点



理由

- 次世代を担う年代の方々への声掛けやお誘いの方法を教われた。(学べた)
 - まち協の今後のあり方等についてヒントがもたらえた。
 - 大変わかりやすく、ポイントをついたお話でした。
 - 課題を直接的には解決できないが、視点を変えてやってみようという意識になった。
- △時間が不足でもっと聞きたかった。
△質疑応答の時間がほしかった。

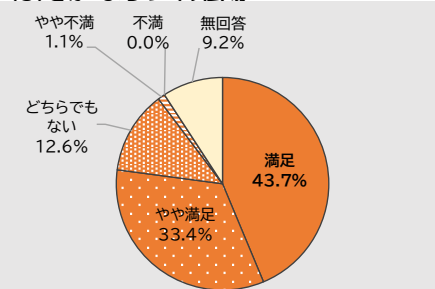
(2)事例発表



理由

- 子供たちを中心にすえ、保護者をまきこんだ活動は見習う必要を感じました。
 - 防災は地域全体で取り組む必要性を感じました。
 - 参考にさせていただき、自分の地域では何が出来るかを話し合いたい。
 - 1~2校区の発表が良い。昨年から改善されてよかった。
- △時間が足りない。
△手持ち資料が欲しかった。

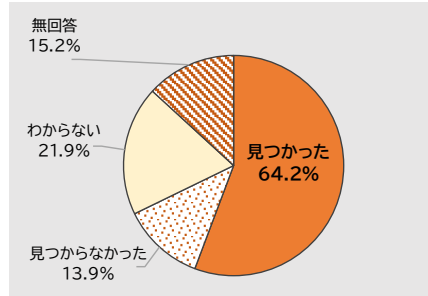
(3)さが・まちづくり広場



理由

- 色々なまち協や企業、団体とマンツーマンで話ができよかった。
 - 興味深い活動をされている団体もあり、今後繋がっていければと思う。
 - 新たなつながりが生まれそうです。
 - 元気な人が多くて、今後の佐賀市に光がみえました。
 - 展示するところも交流できる仕組みがgood。
- △ブースの間隔がせまくて見にくかった。
△毎年同じブースの出し方。

今回のイベントで、何か今後につながるヒントは見つかりましたか。



具体的な内容

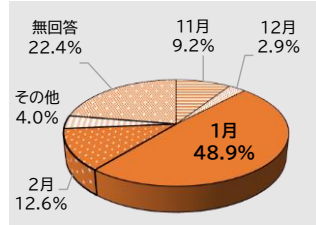
- 自分の地域での活動に取り入れたい内容があった。
- 人的交流が出来、今後の取り組みのヒントをもらった。
- イベントの考え方、やり方などが参考になりました。
- 一緒に活動したい団体と出会えました。

△期待した程度ではなかったが、参考になった。

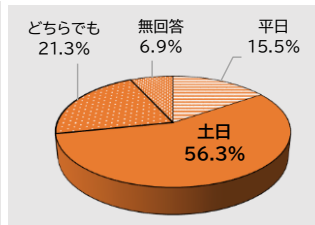
△何からすればよいか見つからなかった。
△私が考えている催しを行っているブースがなかった。

来年度の交流会などについて、ご意見をお聞かせください。

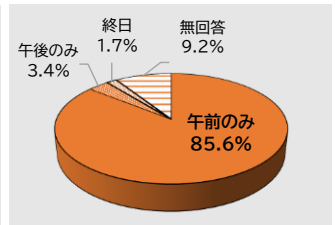
(1)開催の時期



(2)開催の曜日



(3)開催の時間帯



(4)他団体との交流…今後の活動で交流したい団体があればお書きください。

- ◇他のまちづくり協議会 ◇市民活動団体 ◇佐賀県防災士会 ◇フードバンクさが
- ◇外国籍の方の団体、学生の団体 ◇大学生のボランティア団体 ◇大学 ◇企業
- ◇社協 ◇参加団体を増やして欲しい ◇今回だけの判断は難しかった 等々

(5)その他…来年度取り上げて欲しい内容やご意見など自由にお書きください。

- ◇若い世代を取り込む方法で、上手くいっている事例 ◇若い人の参加事例
- ◇予算はどうしてるのか?について ◇PTAとまち協との関わり方についての事例紹介など。
- ◇NPOの活動状況。交流を考えるため。 ◇災害時の対応などまちづくりで行えること。
- ◇グループ(協議会)毎の交流会があってもいいのかな?
- ◇少子化による保護者の減少と高齢化による担い手不足の対策
- ◇まち協役員さんの意識改革をするためにどうしたらいいか、そのへんの講演をいただきたい。後継者作り若返りも含めて。
- ◇他の方達との交流の場がほしかった。時間が足りない。 ◇深川さんの話はどこかで伺いたい(次回でも)。

令和5年度

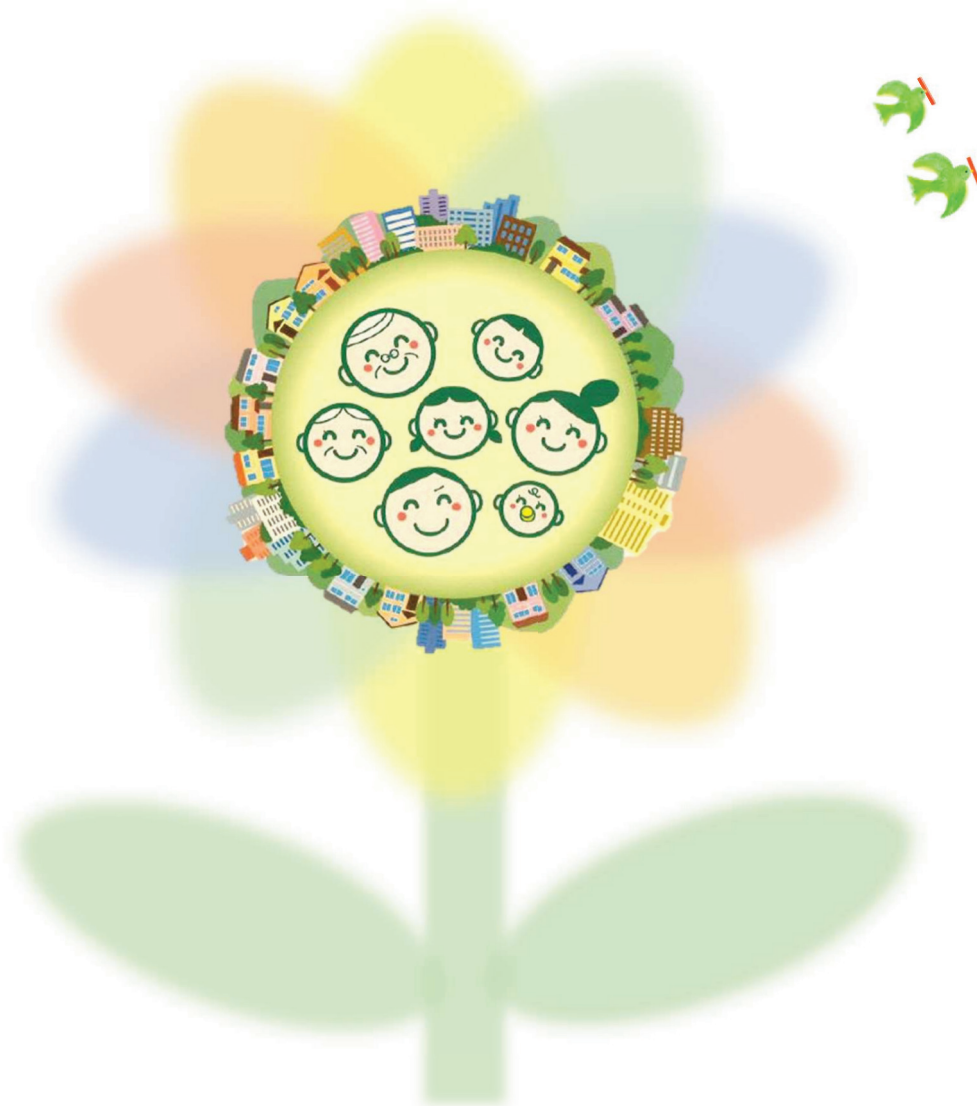
佐賀市地域づくり交流会

じ ぞく か のう

持続可能なまちづくり

あか みらい

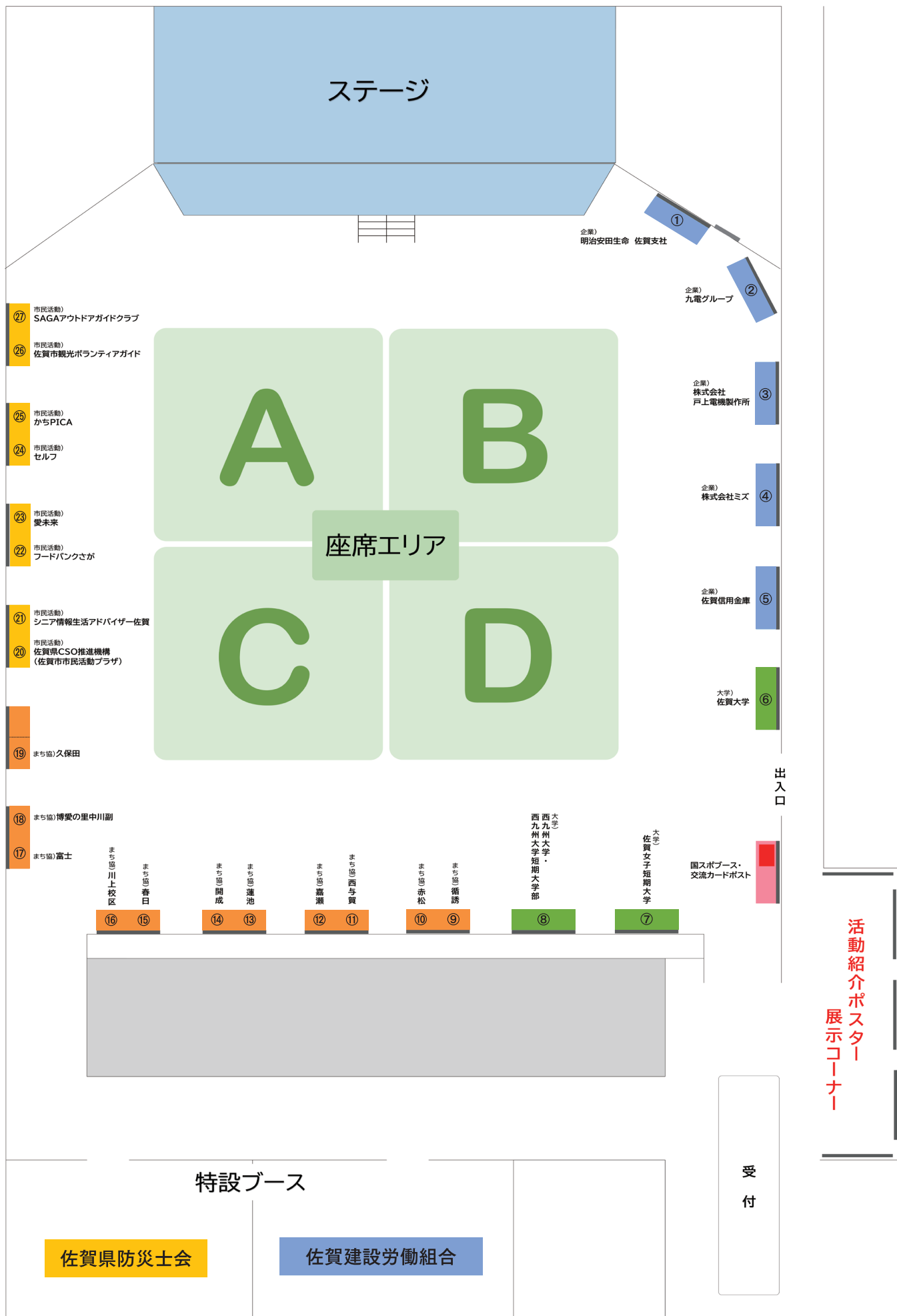
～明るい未来へつなぐバトン～



[期 日]令和6年1月27日(土) 9:30～12:00

[会 場]メートプラザ佐賀(佐賀勤労者総合福祉センター)

会場案内図



ステージ

① 企業) 明治安田生命 佐賀支社

② 企業) 九電グループ

③ 企業) 株式会社 戸上電機製作所

④ 企業) 株式会社ミス

⑤ 企業) 佐賀信用金庫

⑥ 大学) 佐賀大学

座席エリア

A

B

C

D

出入口

国スポブース・交流カードポスト

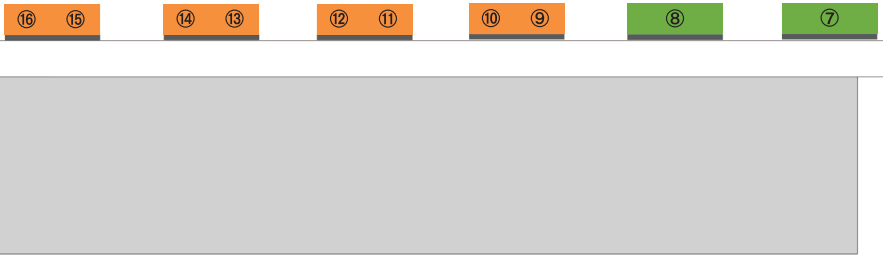
活動紹介ポスター
展示コーナー

特設ブース

佐賀県防災士会

佐賀建設労働組合

受付



16 (まち協)川上校区

15 (まち協)春日

14 (まち協)開成

13 (まち協)蓮池

12 (まち協)嘉瀬

11 (まち協)西与賀

10 (まち協)赤松

9 (まち協)笹野

8 (大学)西九州大学・西九州大学短期大学部

7 (大学)佐賀女子短期大学

27 市民活動) SAGAアウトドアガイドクラブ

26 市民活動) 佐賀市観光ボランティアガイド

25 市民活動) がちPICA

24 市民活動) セルフ

23 市民活動) 愛未来

22 市民活動) フードバンクさが

21 市民活動) シニア情報生活アドバイザー佐賀

20 市民活動) 佐賀県CSO推進機構 (佐賀市市民活動プラザ)

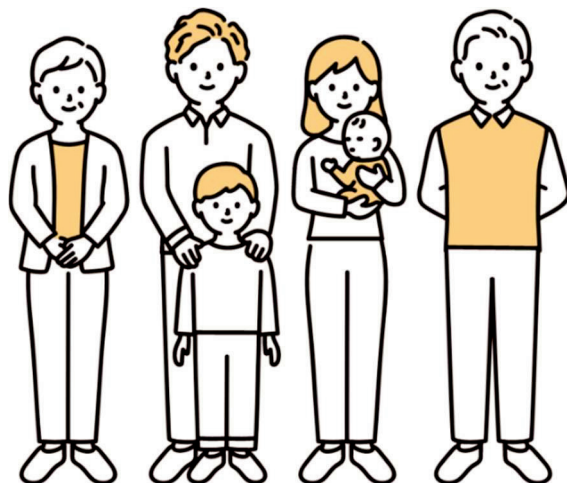
19 (まち協)久保田

18 (まち協)博愛の里中川副

17 (まち協)富士

目 次

1	プログラム	1
2	ファシリテータープロフィール	2
3	参加団体一覧	3
4	活動の紹介	6
	まちづくり協議会	6
	市民活動団体	38
	企業	50
	大学	58
5	関連資料	62



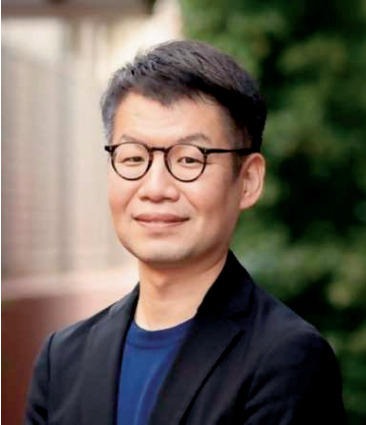
プログラム

時間	内容
9:30	開会あいさつ
9:35 ~ 10:00	基調講演 「私からはじまる協働のまちづくり」 ～子育て世代の特徴からみた地域活動への参加と担い手としての可能性～ 講演:花園大学 社会福祉学部 准教授 深川 光耀 氏
10:00 ~ 10:30	事例発表 ①春日北まちづくり協議会 発表者:春日北まちづくり協議会 副会長 安富 千鶴 氏 ②佐賀県防災士会 発表者:佐賀県防災士会 代表 溝上 良雄 氏
10:30 ~ 10:45	アイスブレイク 「4 マス自己紹介」 ファシリテーター:深川 光耀 氏
10:45 ~ 11:50	さが・まちづくり広場 参加団体の活動内容を紹介するブースやパネルを設置します。 会場内を自由に見て歩き、ブースで話を聞くなど交流を行います。 なお、今年度は多目的室に特設ブースも設けております。 会場案内図は表紙裏をご参照ください。 【多目的ホール】 ①明治安田生命佐賀支社 ②九電グループ ③株式会社戸上電機製作所 ④株式会社ミス ⑤佐賀信用金庫 ⑥佐賀大学 ⑦佐賀女子短期大学 ⑧西九州大学・西九州大学短期大学部 ⑨循誘まちづくり協議会 ⑩赤松まちづくり協議会 ⑪西与賀まちづくり協議会 ⑫嘉瀬まちづくり協議会 ⑬蓮池まちづくり協議会 ⑭開成まちづくり協議会 ⑮春日まちづくり協議会 ⑯川上校区まちづくり協議会 ⑰富士まちづくり協議会 ⑱博愛の里中川副まちづくり協議会 ⑲久保田まちづくり協議会 ⑳NPO法人佐賀県CSO推進機構(佐賀市市民活動プラザ指定管理者) ㉑NPO法人シニア情報生活アドバイザー佐賀 ㉒NPO法人フードバンクさが ㉓NPO法人愛未来 ㉔NPO法人セルフ ㉕かちPICA ㉖佐賀市観光ボランティアガイド ㉗NPO法人SAGAアウトドアガイドクラブ 【多目的室】 ○佐賀建設労働組合 ○佐賀県防災士会
11:50 ~ 12:00	振り返り・まとめ
12:00	閉会



ファシリテータープロフィール

深川 光耀 (ふかがわ こうよう) 氏



花園大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授。

佐賀市生まれ、京都市在住。

立命館大学大学院社会学研究科博士課程後期課程修了。

博士(社会学)、専門社会調査士。

専門は、住民主体のまちづくり、対話の場づくり。

1965年から50年以上にわたって住民主体のまちづくりに継続して取り組む神戸市長田区真野地区のまちづくりに学ぶ。

金沢市のまちづくりシンクタンク(株)計画情報研究所の研究員、京都市のまちづくりアドバイザーを経て、現在に至る。

「小地域における地域課題の解決のあり方とその担い手に関する研究」をテーマとしながら、各地域やプロジェクト(子ども食堂の運営、市民参加型の対話の場づくり)などに関わる。

主な委員等

- コミュニティ政策学会 理事
- 京都市政策評価委員会 委員
- 中京区基本計画推進会議 座長
- 公益財団法人草津市コミュニティ事業団ひとまちキラリまちづくり助成 審査委員長
- 守山市中間支援組織のあり方研究会 委員長

著書

- 単著『私発協働のまちづくり 私からはじまる子どもを育む地域活動(仮)』
晃洋書房、2024年3月出版予定
- 分担執筆『はじめてのファシリテーション 実践者が語る手法と事例』昭和堂、2019年

参加団体一覧

団体名	ページ	ブース番号
勸興まちづくり協議会	7	
循誘まちづくり協議会	8	⑨
日新校区まちづくり協議会	9	
赤松まちづくり協議会	10	⑩
神野まちづくり協議会	11	
西与賀まちづくり協議会	12	⑪
嘉瀬まちづくり協議会	13	⑫
巨勢まちづくり協議会	14	
兵庫まちづくり協議会	15	
高木瀬まちづくり協議会	16	
北川副まちづくり協議会	17	
本庄まちづくり協議会	18	
鍋島まちづくり協議会	19	
金立まちづくり協議会	20	
久保泉まちづくり協議会	21	
蓮池まちづくり協議会	22	⑬
新栄まちづくり協議会	23	
若楠まちづくり協議会	24	
開成まちづくり協議会	25	⑭
諸富町まちづくり協議会	26	
春日まちづくり協議会	27	⑮
春日北まちづくり協議会	28	
川上校区まちづくり協議会	29	⑯
松梅まちづくり協議会	30	
富士まちづくり協議会	31	⑰
南川副まちづくり協議会	32	
西川副まちづくり協議会	33	
博愛の里中川副まちづくり協議会	34	⑱
大詫間まちづくり協議会	35	
東与賀まちづくり協議会	36	
久保田まちづくり協議会	37	⑲

参加団体一覧

団体名	ページ	ブース番号
NPO法人 愛未来	39	㉓
NPO法人 おせっかい工房咲風里	40	
かちPICA	41	㉔
NPO法人 SAGAアウトドアガイドクラブ	42	㉗
NPO法人 佐賀県CSO推進機構(佐賀市市民活動プラザ指定管理者)	43	㉐
佐賀県防災士会	44	特設
佐賀市観光ボランティアガイド	45	㉖
NPO法人 シニア情報生活アドバイザー佐賀	46	㉑
NPO法人 セルフ	47	㉒
NPO法人 フードバンクさが	48	㉚
夢つなぐ応援隊	49	
九電グループ	51	㉙
佐賀建設労働組合	52	特設
佐賀信用金庫	53	㉕
株式会社 戸上電機製作所	54	㉓
株式会社ミズ	55	㉔
明治安田生命 佐賀支社	56	㉑
佐賀女子短期大学	59	㉗
佐賀大学	60	㉖
西九州大学・西九州大学短期大学部	61	㉘

まち協

31団体

市民活動

11団体

企業

6団体

大学

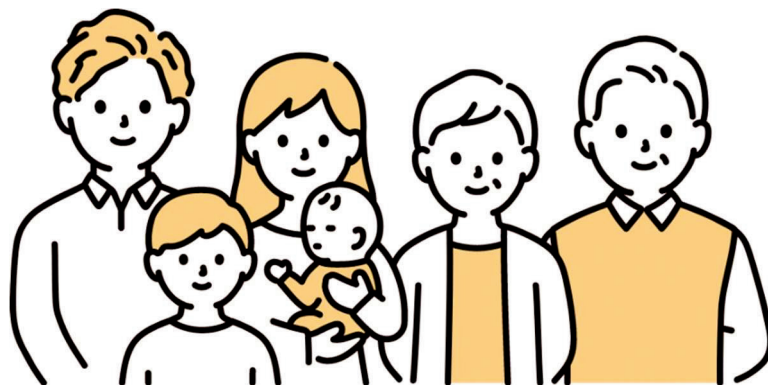
3団体

参加総数

51団体

活動の紹介

まちづくり協議会



勸興まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

合言葉は「勸興皆一家」。勸興校区に集う人はみんな家族だという合言葉の基、皆が集えるまちづくりを目指しています。今年は4年ぶりに従来の形で開催された「勸興まつり」をご紹介します。

地域と小学校が融合して開催される「勸興まつり」は、それまでは別々に開催されていたものを、25年ほど以前に、児童数の減少を受けて始められた、地域と学校との協働による地域おこしです。午前中は児童による発表会（フリー参観日）、午後は地域主催のイベントと抽選会です。開会式では、6年生の児童と自治会長が同じ神輿を繋いで体育館の中を一周する「神輿つなぎ」で始まります。大きな掛け声とともに、神輿が進みます。今年の午後のイベントは、成章中学校のブラスバンドによる演奏会。参加してくれた部員からも「久しぶりにこの体育館に来て嬉しい」という言葉が出ていました。もう一つは「老人クラブ連合会」昭和の青年たちによるリズムダンス。今年の演目は「私は今日まで生きてきました」。児童からの大きな拍手。地域がひとつになる瞬間です。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

今後の課題としては、次代を担う方々の発掘と共に、コロナ前の形を継承するだけでなく、新しい地域づくりの形を模索することも必要ではないかと感じているところです。特に小学校は人が移動していくところなので、地域と同じ意識を維持してもらうことの難しさを感じていますが、「勸興皆一家」の合言葉のとおり、皆が集まってきてくれるまちを目指しています。老若男女が笑顔で交流する「勸興皆一家」を目指してこれからも生きて行きます。

今後の展望や夢、目標など

今は それぞれに頑張ってくれる方も多くいるけど、年齢の高齢化が進んでいる けど 現役世代の方々にも参加して頂いて、次代を担うリーダーを発掘しバトンタッチ して 継続的に行事等を進めて行けるような地域社会にしていき、我々はバックアップ したい

課題は 現に地域にいる若い世代の方々に、地域社会とのつながりを敬遠する傾向があるということ。小学校の保護者という位置にいる間は、子どもを通して地域とのつながりがあるが、子どもの卒業を契機として、地域との関りを拒む傾向が強い。意識改革が必要だと思う。

代表者

勸興まちづくり協議会 会長 小城原 直 （作成責任：副会長・福島）

連絡先

勸興公民館 住所：佐賀市成章町1番8号 電話：23-6303

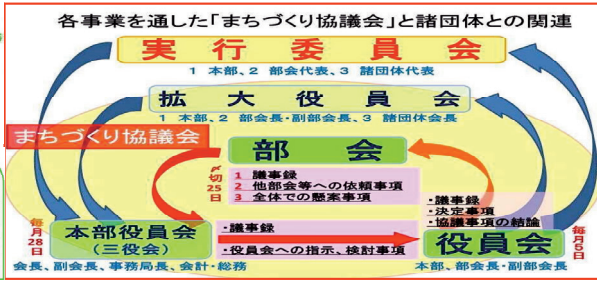
循誘まちづくり協議会

団体や地域の自慢（特色）したいこと

循誘まちづくり協議会は、設立して8年目となりました。「心ゆたかなまち じゅんゆう」を全体目標として掲げ、4つの部会（地域活性化部会、環境・防災・防犯部会、健康づくり・福祉部会、子どもへのまなざし部会）が、「循誘まちづくり計画」に基づき、様々な事業・行事を通し、豊かで住みよい地域づくりに取り組んでいます。特に、地域（校区）全体に関わる事業・行事については、地域の諸団体と一緒に実行委員会を立ち上げ、企画・運営をしています。



※「循誘ふれあいふるさと祭り(10月)」、「春のじゅんゆう文芸賞(2月)」は実行委員会企画・運営をしています。(右図参照)



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

新型コロナウイルス感染症で私たちの生活様式も様変わりしました。“新たな当たり前”を認識し、人と人との関わり方・あり方や、地域のあり方を考慮・整理し、まちづくり協議会をさらに充実・発展していくことが大切と考えています。今年も、多くの人に関わり、地域のつながりを育むような地域行事が節目を迎えました。まさに“afterコロナ”にふさわしく、まちづくり協議会をさらに充実・発展させていくため、会員一丸となって事業を盛り上げ、地域の活性化を図っています。

令和5年6月10日(日)“カレーの日”10周年

今年で10年を迎えた“カレーの日”は地域の方の相互交流を主な目的に、各種団体・サークルの方が月別の担当となり、毎月10日に、カレーを提供しています。今回のカレーの担当は、男性料理クラブ。牛のテールをたっぷり使いパンチの効いた濃厚カレー。ピアノリサイタルもあり、10周年記念にふさわしい“カレーの日”となりました。

会長あいさつ これまでの10年間の歩み(壁面)

令和5年10月28日(土) 10回目を迎えた“循誘ふれあいふるさと祭り”

コロナ禍のため、中止の時もありましたが、今年で10回目を迎えました。当日はお楽しみ抽選券も12時前には完売。また地域の方の出店はもとより、キッチンカーの出店もあり、大いに賑わいました。

「循誘公民館便り」11月号のトップページを飾った坂田さんファミリー 会長あいさつ ポスターコンクール表彰式 トミー富岡 爆笑歌謡ショー お楽しみ抽選会 一等賞

第20回“春のじゅんゆう文芸賞” 作品の申込期間R5.12.1～R6.1.15

今年で20回目を迎えた“春のじゅんゆう文芸賞”。この事業は、「佐賀城下ひなまつり」の開催に合わせ、校区内外から公募した文芸作品（俳句・川柳・1行詩）を短冊にして、「佐賀城下ひなまつり」のメイン会場である“歴史あふれる町『循誘校区』”に展示します。この活動を通し、地域の方相互の連帯感を高め、地域の方と観光客の方との交流を図り、“情緒豊かな趣のあるまちづくり”をめざします。

じゅんゆう文芸賞表彰式 (歴史民俗館「旧古賀銀行」をバックに)

今後の展望や夢、目標など

現在、循誘まちづくり協議会では、24の事業所・団体、会員約100名で構成しています。コロナの流行前は、120名を超えていました。しかしここ数年、コロナ禍のため、会議が開催できなかったり、事業・行事等の中止や縮小だったこともあり、会員が約100名に減少してきています。そのため今後は、後継者育成と人材発掘に力を入れていく必要があると思っています。

まち協の本部としても、佐賀市主催の交流会への目的を持った参加は勿論、他地区のまちづくり協議会への視察研修など実施し、まち協の組織の活性化・充実を図っていきたく思います。

代表者 循誘まちづくり協議会 会長 平川 哲男
連絡先 循誘公民館 住所：佐賀市大財二丁目2-52 TEL/FAX：0952-23-3759

日新校区まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

日新校区は反射炉を代表とした歴史が息づいた校区です。
毎年8月に開催される日新まつりではカノン砲が大きな音でまつりに花を添えてくれます。

また、日新小名物の藤の花見茶会では、6年生を対象にお茶を振る舞い、地域の大人と子どもの交流を図ると共に、児童生徒に貴重な伝統文化の体験を提供しています。

このように、一年を通して行事の多い日新校区はいつも賑やかで、結束力が強いのが自慢です！



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ禍で中止を余儀なくされていた各種行事ですが、令和5年度ではほぼ復活開催をすることが出来ました。どの行事も多くの方々が参加され、いよいよ日新校区の本領発揮といった一年でした。しかしながら、行事の運営にはたくさんの労力が必要になるため、それぞれが無理をせず、自分が出来るだけの気持ちを念頭に置き、各種行事の運営に努めました。

今後の展望や夢、目標など

今は _____ 会員内で夢プランの認知度が低い _____ けど
_____ 夢プランを再認識 _____ して
日新校区を持続可能で魅力あふれるまちにするための実行力をつけたい！！

【具体的に】

まちづくり協議会立ち上げの際に掲げた「夢プラン」を現在の役員のほとんどが認識していませんでした。「夢プラン」はまちづくり協議会がどこへ進んでいくのかを指し示す羅針盤のようなものです。そこで、今後は「夢プラン」の見直しも視野に、認知度を高め、「夢プラン」に沿った事業を展開し、日新校区の魅力を高めていきたいと思えます。

代表者

日新校区まちづくり協議会 会長 稲葉 嵩広

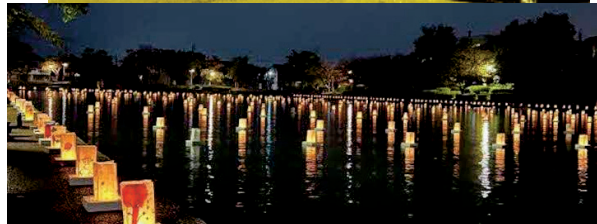
連絡先

日新公民館 住所：佐賀市長瀬町1番20号 電話：26-9216

赤松まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

赤松の活動のターゲットは①子ども②高齢者③防災の3つ。次代を担う子どもたちが大人になった時「赤松で暮らせてよかった」と心から思える体験をたくさん与えることを一番に考え、実行。鯨の門まつりやお堀灯ろうまつりなどのビッグイベントはもちろん、餅つきやバーベキュー、様々な学習体験イベントを次々に実施してきました。4年前のコロナ発生の年には祭ができないなら、と初のドライブインシアターを敢行、赤松小グラウンドに200台を収容、若いファミリーを満足させたことも。ふた月に1回の子ども食堂も、公民館で一緒に食べるスタイルから配達方式に変え、休むことなく実施しています。



高齢者には赤松公民館までの青パト送迎はじめ、様々な「地域の便利屋活動」を展開。今年元気部会が初めてのバスハイクも楽しみました。

防災は佐賀市危機管理防災課や県土木事務所とタッグを組み、お堀の貯水力アップなど年々激しさを増す水害対策を着実に強化。早速今年は床上ゼロを実現しました。

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナはその強い感染力のため、集まれないという地域活動にとっては致命的問題を投げかけました。この結果、男性高齢者はますます家に籠りがちになりましたが、コロナが収まり、5類に引き下げられた今年度は校区社協と赤松公民館がそれぞれ月1回、彼らの引っ張りだし作戦を展開。そば打ちやバスハイク、さらには「自画自賛会」など魅力的でユニークな集まりを企画、実行。徐々に参加率を高めているようです。

また赤松公民館内外を明るくして、孤独感におさらばしようとライトアップ作戦を計画。この実行部隊として60歳以下の若手？メンバーを集め「わいわいがやがや会」が発足。当然、彼らは次世代のまち協リーダー候補生。これを機に組織の原動力への期待感も高まります。

今後の展望や夢、目標など

少子高齢化と地球温暖（沸騰？）化が止まりません。近い将来消滅する地域も出るなどと喧伝されています。いずれにしろ経済が急速にひっ迫してきたのは確か。我々地域活動にとっても将来的に活動費の圧縮化が心配です。地域の将来への夢を掲げ活動する協議会にとって資金的裏打ちは欠かせません。自ら稼ぎ出すにもボランティア頼みの現状では極めて心細い。沖縄県などでは県立博物館も今や指定管理者が運営しており、第3セクター化などまち協を法人化するなどを真剣に議論する時代が来ていると考えています。これには国はもとより県や市の強力な後押しが必要です。3年おきの事業費申請をして報告書を書く今のスタイルから歩を進め、地域活動の「経営」を早急に模索するフェーズを迎えていると考えています。パイロット的に赤松から始めていただいてもむろん結構。何から始めるか、自治体と地域で協議していきましょう。

赤松まちづくり協議会 会長 福田 伸裕
連絡先

赤松公民館 住所：佐賀市中の館町4番10号 電話：23-6002

神野まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

本会は「つながろう！輪になろう！支えあうまち神野」を目標に掲げ、神野校区に住んでいる人たちが、お互いに交流と親睦を図り、豊かで住みよいまちづくりに取り組もうと平成 26 年（2014）6 月 25 日に設立されました。

子どもから高齢者まで楽しめる「神野校区夏まつり」、地域の団結と親睦を図る「神野校区民スポーツ大会」、質の高い文化芸術に触れることを通して豊かな感性を育む「神野芸術祭」、公民館自主サークル活動の成果を発表し、地域交流の場とする「公民館文化祭」、地域の子どもの見守り、地域全体の安全・安心を図る「地域の安心・安全見守り事業」など、協議会本部が主体となって行います。また、当協議会には 5 つの専門部会を設けて事業を進めています。

- ① 集い・交流の盛んなまちづくり部会……神野総参加ラジオ体操、お菓子づくりなど
- ② 子育てしやすいまちづくり部会……カブトムシ大会、ぼたもち会など
- ③ ご近所で支えあうまちづくり部会……地域の絆交流会（豚汁会、脳トレ、健康ウォーキング）など
- ④ 次の担い手が多いまちづくり部会……会報の発行、ホームページの充実など
- ⑤ 防犯・防災意識の高いまちづくり部会……防災講座、防犯講座、災害マップ作成など

【神野校区夏まつり】

【神野校区民スポーツ大会】

【神野芸術祭】



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ禍で地域行事の中止が続き、私たちは少しさみしい思いをしました。そんな中、昨年 12 月に「神野が元気になるように」との思いを込め、役員会で協議しイルミネーション点灯を企画しました。

まだまだ小さな灯りですが、今後少しずつでも灯を増やし大きく明るく照らし、地域の思いがさらに集まり豊かで住みよいまち神野になるように、皆で力を合わせて頑張りたいと考えています。



今後の展望や夢、目標など

私たちは、これまで豊かで住みよいまちづくりのために、いろいろな行事に取り組んでいました。ところが、コロナ禍で開催できなかったことで「誰のための、何のための行事なのか」を再考する契機となりました。

例年同様ではなく、各自が思いや考えを出し合い協議し内容を精選する中で互いの関わりも一層強まっています。これからもまちづくりの活動を通して地域の結びつきを深め、さらにはすばらしい神野になるよう努めます。

代表者 神野まちづくり協議会 会長 塚原 康弘

連絡先 神野公民館 住所：佐賀市神野西 1-4-7 電話：0952-30-6702

西与賀まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

西与賀町での大きな行事に7月「朝ラジ&避難訓練」、8月「にしよか夏祭り」、9月「町民運動会」、11月「にしよか文化祭」12月「にしよかライトファンタジー」2月「防災訓練」などがあります。その中で「にしよか夏祭り」や「にしよか文化祭」はまちづくり協議会が主体となって実施しています。

9年目を迎えた「にしよか青パト安全部隊」は、今回九州地区防犯協会・九州管区警察局から表彰を受けることができました。



夏祭り



文化祭



避難訓練

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

昨年の文化祭は舞台等の演舞については全てDVD放映での鑑賞となりましたが、今年は体育館や公民館での出演ができました。小学校体育館でも公民館でも満員となって活気あふれる文化祭となりました。さらに充実し町民がこぞって参加できる内容に高めていくことを検討していきます。



今後の展望や夢、目標など

- 1) 小学校との取り組みの強化 小学生と地域とのかかわりは、郷土カルタまち探検(3年生)、1・2年さつまいも栽培、夏祭り、文化祭、しめ縄づくり、計算ばっちり週間などがありますが、こうした地域と学校を結ぶ活動を行い、子どもたちの成長のバックアップをしていきたい。
- 2) 各団体役員の高齢化が進んでいるので、若い人の参加と意見交換の場を設け、幅広い年代で事業ができるよう取り組みたい。

代表者

西与賀まちづくり協議会 会長 嘉村 芳則

連絡先

西与賀公民館 住所 佐賀市西与賀町厘外 1405 電話：23-4683

嘉瀬まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

嘉瀬校区では、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という住民が主役の地域づくりを目標に挙げ、子どもを中心に「安心して住むことができるまちづくり」に取り組んでいます。

5部会の取り組みは？

- 【子ども育成部会】・・・子育てしやすい町を目指して
- 【福祉・健康部会】・・・健康で明るい町を目指して
- 【防災・安全部会】・・・安心安全な町を目指して
- 【環境部会】・・・花いっぱい美しい町を目指して
- 【ふれ愛・文化部会】・・・みんながふれあえる町を目指して



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

嘉瀬まちづくり協議会が立ち上がって12年。今まで取り組んできたことをさらに強化し、新しいことも取り入れ、元気の嘉瀬町づくりを進めています。

- ・他の良い取り組みを取り入れ、嘉瀬町バージョンへ（事例：嘉瀬町内団体の行事予定表）
- ・今までの取り組みを、親しみやすくバージョンアップ（事例：嘉瀬町イラストマップ）
- ・高齢者の参加を促すために、競技スポーツからレクリエーションスポーツへ（事例：スポーツ協会と一緒に）

今後の展望や夢、目標など

今は 限られたメンバーで活動している けど
新しい人の参加を増やし、新しいことにもチャレンジ して
応援団（関係人口）を増やし、「安心で元気」なまちづくりを行い たい！！

【具体的に】

- ・現行イベントの仕組みを見直し、もっと多くの人を巻き込むまちづくり。
- ・多様な大人の出番を増やし、人材を発掘しながらのまちづくり。
- ・他の地域、団体、学校、企業との連携による今までにない取り組みをするまちづくり。
- ・チャレンジへのサポート（人、資源）するまちづくり。

代表者

嘉瀬まちづくり協議会 会長 川原田 裕明

連絡先

嘉瀬公民館 住所：佐賀市嘉瀬町大字中原 1690 番地 電話：26-5208

巨勢まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

【巨勢の佐賀弁にわか劇】

巨勢町では毎年11月、「巨勢町文化祭」を開催しています。全町民の皆様に参加を
 お願いし、自慢の作品展示や日ごろ練習してきた活動の成果発表、小・中学生による
 「少年の主張」や演奏・合唱等をご覧いただく一大イベントです。その中で、15年
 前に巨勢の大人と小・中学生が一緒になって実施できるものがないかという発想から
 始まったのが「にわか劇」でした。その第1回目は平成20年。元気アップ事業の取
 組みでスタート。その後、その年に話題となった出来事を題材として取り上げ、毎年
 開催するようになりました。今では巨勢自慢のイベントとして定着しています。

【巨勢動画チャンネル】

ICT時代に合わせ、令和2年から
 市ホームページ「つながる巨勢」や
 YouTubeを活用し、これまで
 に巨勢町の行事や史跡、四季の風景
 をご紹介する「巨勢動画チャンネル」
 の動画93本を発信しています。
 地域の皆様が主役の映像です。



巨勢町文化祭での「にわか劇」(平成30年)

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

【巨勢まち協設立10周年を記念する事業の展開】

アフターコロナのスタート年である今年度は、巨勢まち
 づくり協議会設立10周年の記念すべき年にあたります。
 4年ぶりの開催となる「巨勢まつり」や「巨勢町文化祭」
 などの校区事業を10周年記念事業として謳い開催します。



今後の展望や夢、目標など

- ・今、まちづくり協議会の一番の課題は、若手の後継者発掘育成です。加えて、女性の方々への活躍の場を提供することです。
- ・今は仕事をリタイアされた方が中心になって活動を行っていますが、地域の若い人達や女性層としっかり連携を取り、みんなが安心できる楽しいまちづくりを行います。

【具体的には。(時間がかかるでしょう)】

- ・まち協は、巨勢町の各団体にて構成されています。まずは、各団体に若手・女性の登用や育成をお願いします。
- ・若い人達に、地域活動へのアンケート調査を行います。若い人達の各団体・まち協への質問・意見の集約を行い、今まで、地域行事や活動に参加されなかった問題点を探し出し課題解決を図りたいと考えています。

平成22年から開催の「巨勢公園ラジオ体操会」



「みんなは一人の為に、一人はみんなの為に」

代表者 巨勢まちづくり協議会 会長 石井 孝嗣
 連絡先 巨勢公民館 住所：佐賀市巨勢町大字高尾104番地17 電話：26-9218

兵庫まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

兵庫の里まつり「フル」を実施

- 【起】コロナ禍を乗り越えての久しぶりの開催を企画
【承】まちじゅうのみなさんに来ていただこうと協議
【転】その前にたちはだかった
令和3年6月の「食品衛生法」強化改定
「遵法」すべくまちじゅうで知恵を絞った
【結】そのおかげで
まちじゅうの笑顔が久しぶりに集った。
まちじゅうの笑顔に久しぶりに出逢えた。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

真夏真ただ中での開催を企画したため、兵庫の里まつりの模擬店出店に際し、改正食品衛生法**遵法**のテントの「三方ふさがり」に「八方ふさがり」となりそうな暑さ。その点をどう克服しようかと、「まつり後(あとのまつり)」でもひたすら協議を重ねている。



今後の展望や夢、目標など

今は コロナ禍明けでぼちぼち活動を様子を見ながら始めている けど
「いまできる」ことを、徐々に増や して
「そのとき現在の100%」でのまちづくりを目指し たい！！

【具体的に】

- 【共生・環境】的視点 地域を花でいっぱいになりたい。
【めばえ】的視点 子どもたちの地域ごとの行事、まつりへの参加を応援したい。
【イキイキ福祉】的視点 健康診断の受診率をもっともっと上げたい。
【安全・安心】的視点 「ながら見守り活動」を推し進め「こどもが真ん中」を実践したい。
【歴史・文化】的視点 元々地区ごとに開催されている行事、地区のまつりを応援したい。

代表者

兵庫まちづくり協議会 会長 徳島 秀文

連絡先

兵庫公民館 住所：佐賀市兵庫町大字淵 1295 番地 電話：23-3566

高木瀬まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

3部会で活動しています。特徴的なことを紹介します。

◎子ども見守り部会では「高木瀬の子どもは高木瀬地域で守ろう」を旗印に、「ながら見まもり」活動参加者を募集し、現在250名超の方が会員です。この取組を広げ知ってもらうため、今年度は「まちづくり講演会」を10月28日に、福岡の今泉重利氏を迎え行いました。

このほか平日実施の「青パト巡回」と毎月行っている「子どもの居場所づくり」についても継続しています。青パト乗車講習会については6月6日に実施し参加者は約40名でした。

◎高齢者見守り部会では高齢化の中認知症も数年後には5人に1人と言われていることから、これまで「認知症サポーター養成講座」を開催しました。一歩進めるため、認知症の家族の方を対象とした「認知症患者を支えるやさしいまちづくり」の講習会を佐賀リハビリテーション病院の南里悠佑介医師を講師に迎え9月9日に研修会を約80人の参加を得て行いました。

また、小学生4年生を対象にも12月6日「キッズ講座」を開催し理解を深めてもらいました。

◎校区自治会長会では、昨年度安全安心についての「意識調査」を行いました。この調査に基づき、自治会長会と共催し、住民への日頃から防災・減災に対する関心を持ってもらうよう啓蒙活動を兼ねて、災害時の避難訓練を各種団体が一体となり7月30日、高木瀬小学校で住民約800名の参加を得て実施しました。これにより避難時の問題点に気づくことができました。

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

◎本年はコロナ禍が第5類に分類されたことから、これまで延期・中止しておりました「高木瀬ふれあい夏まつり」も4年ぶりに実施することができ、皆様から大変喜んでいただきました。令和6年1月7日には「ほんげんぎょう」も行います。

◎今後は、これまでの行事を見直しながら新たな形で住民のニーズに合うように取り組んでいきたいと考えています。

今後の展望や夢、目標など

◎現在「ながら見守り」に取り組んでいますが、これを子どものみならず高齢者、認知症の方、障害者など「配慮が必要な方々」まで広げ、「明るく顔が見えるまち」にしたいと考えています。

また、「災害に強い防災・減災のまち」にも取り組んでいきます。

【具体的に】

ながら見守り隊員をさらに増やし、防災士を増やしていきます。また、認知症に対する理解をさらに深めていきます。

代表者

高木瀬まちづくり協議会 会長 阿間見 健

連絡先

高木瀬公民館 住所：佐賀市高木瀬東五丁目1番12号 電話：31-3400

北川副まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

「ふれあう」【夏まつり、冬まつり、桜まつり、
町区対抗グラウンドゴルフ】

「支え合う」【どけいくかんだ！ネットワーク
(徘徊高齢者事前登録制度)】

「助け合う」【防災研修】

「心を育む」【子どもの安全・防災マップの配布、お帰りなさい運動（下校見守り）】

「守り伝える」【校区まちなめぐり】



ふれあい夏まつり



高齢者スポーツ大会

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ禍で多くの行事が中止になり、明けた今、担当者の中にも「しないで良いならせんでもよか」感が漂い、なかなかボランティア活動に割く時間が少なくなり、スタッフ参加者が少なくなってきました。そこで、多くの方が参加でき、スタッフも楽しめる行事イベントを再構築していきたいと考えています。

マンパワー不足を解消するため、これまで各種団体に任せていた会場設営や模擬店などの役割分担を改め、仕事ごとに組みなおし、ミスマッチを減らそうとしています。

今後の展望や夢、目標など

今は 特定のスタッフに頼りすぎている けど
マニュアル化や入念な打合せを して
もっと多くの方が参加して協働出来るイベントをしたい！！

【具体的に】

① イベントの再構成 ②入念な打合せ ③マニュアル化

⇒ 人が輝き まちが輝く 北川副

代表者

北川副まちづくり協議会 会長 福田 忠利

連絡先

北川副公民館 住所：佐賀市木原三丁目12番8号 電話：23-3086

本庄まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

～本庄町では「子どもを真ん中に置いたまちづくり」を進めています！～

本庄感謝まつり

町民文化祭と日曜フリー参観デーを合体して、地域と小学校の融合を深めています。

● まつりの特徴は・・・

- ① 児童と公民館サークル等とのコラボによるステージ発表
同じステージに立つには数時間に及び合同の練習が必要です。
この練習が融合のミソです。
- ② 特別活動授業として体験活動等の提供・支援
各種団体が様々な体験活動の場を設けて、児童とふれあいながら体験活動を支援します。



1年生とリズムダンスサークルとのダンス

● 目的は・・・

- ① 地域の人達と児童がふれあい・交流することで、お互いの関係を深める。
- ② 保護者（若い世代）が参観することで各種団体の活動を知り、地域活動に関心を持ってもらう。



5年生と食改とのかたりべの里饅頭づくり

● 融合のキーポイントは・・・

- ① まつりを学校の授業として成立させることが鍵
- ② まつり当日だけでなく、練習の過程が重要

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

様々な機会を捉えて、直接ふれあい、交流する場を設けること。
各種団体の活動を広く多くの方々に認識してもらうこと。

今後の展望や夢、目標など

今は いつも同じメンバーで事業を実施している けど
地域の様々な人たち（特に若い人達）と連携 して
まちの活性化を図り たい！！

【具体的に】

まちづくりを進めるためには、人づくりが重大な課題である。
出番→役割→承認→称賛の開発的人材育成で根気強く人づくりを進めていきたい。
また、システム化することにより継続した活動につなげていきたい。

代表者

本庄まちづくり協議会 会長 川崎 健三

連絡先

本庄公民館 住所：佐賀市本庄町大字本庄 279 番地 8 電話：23-2691

鍋島まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

「2023 養正ふれあいまつり」を開催(10月22日・日)

- ◆ 演奏・ダンス等の舞台発表、絵画・書道等趣味の作品展示、飲食物や農産物の販売・ゲーム等の出店に住民約1,300名が来場し、楽しんでいただいた。
- ◆ まつりの準備や運営では、まち協構成員や自治会長など多くの方がスタッフとして係わり、相互の交流も図られた。



佐賀星生学園生徒のダンス



力作揃いの趣味の作品展示



来場者でにぎあうテント村



本部テントの受付スタッフ

鍋島小の総合学習への参画・支援

- ◆ 鍋島小の“地域に学ぶ・地域で学ぶ”をテーマの総合学習に対して、役員・構成員が参画支援。
- ◆ まち協のことも3年生から説明しており、理解を深めるとともに参画意識の高揚に努めている。



【3年生:ニュースポーツを体験】

まち協・古賀部会長の指導



【4年生:防災を学ぶ】

まち協・吉田部会長の説明



【6年生:郷土の歴史や史跡を学ぶ】

まち協・雪竹さんが説明



【3年生から:まち協を学ぶ】

まち協・江頭会長が説明

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

- ◆ 災害対応訓練に関して、一般住民も参加した避難訓練や防災機材の取り扱い訓練の実施など取り組みの充実を図っていききたい。
- ◆ また、ここ数年開催できていなかった、校区内の史跡めぐりなどを実施し、「歴史と未来がふれあうまち鍋島」の実現に努めていききたい。

今後の展望や夢、目標など

- ◆ 現在、まち協活動は高齢者が主体。今後、若い世代や女性が積極的に参画できる環境づくりをめざしたい。⇒子育て世代のまち協活動への参画促進に向けた検討
- ◆ まち協構成団体とのゆるやかな連携とともに、小中学生、佐大医学部学生、校区内企業勤務者など幅広い方々を含めた活動も検討したい。

代表者

鍋島まちづくり協議会 会長 江頭 嘉廣

連絡先

鍋島公民館 住所: 佐賀市鍋島一丁目1番1号 電話: 31-2984



金立まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

金立町は、山と川、田園にかこまれた自然豊かな町です。山では、登山道にキャンプ場、神社やサービスエリアで賑わっており、ふもとには徐福にまつわる施設や葉隠れ発祥の地などの史跡があります。田園では、約7000年前の東名の縄文遺跡があります。また、佐賀市の浸水被害を守るための巨勢川調整池があり、朝夕には、周囲2.6Kmを水鳥や水面に映る景色を見ながらウォーキングやランニングを多くの方が楽しんでいます。

協議会には、地域活性化部会、防犯・防災部会、子ども育成部会、福祉部会、自然環境部会があります。自治会長会をはじめ、消防団、PTAやスポーツ協会、子ども会などの団体と連携しながら活発な活動を行っています。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ禍が明け、活動を自粛していたものを元に戻しつつ、今まで以上の成果を期待し内容に工夫を凝らしている。ふれあい運動会では、子どもに負担をかけない範囲で、住民とのふれ合える競技種目とした。また、金立町の最大イベントである”はがくれの里まつり”にも子どもみこしパレードを復活させ、会場には今まで以上の出店やキッチンカーを入れ 子ども達も縄文遺跡の出店火起こし体験・クラフトコーナー・ストラックアウトコーナー等で楽しみました。

今後の展望や夢、目標など

今は 東名遺跡で貝塚が発掘され展示されている	けど
講演会・出前授業などを	して
興味を持ってもらい、展示館に足を運んでもらい	たい！！

【具体的に】

東名遺跡は、約7000年前の貴重な遺跡であるが、住民の皆にはなかなか興味を持ってもらえていない。小学校・公民館などで出前授業を行ってもらい遺跡の知名度を上げる。発掘された現場を見られれば興味を持ってもらうには、一番良いのだが何か良いアイデアはないのか？

代表者

金立まちづくり協議会 会長 鐘ヶ江博文

連絡先

金立公民館 住所：佐賀市金立町大字千布2333番地2 電話：98-1016

久保泉まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

「エヒメアヤメの里久保泉」は豊かな自然に恵まれ、各種イベントを通じて人々の交流が盛んな地区です。中でも国の天然記念物であるえひめあやめの保全活動を通じて町民の融和・交流を図っています。

具体的には①小学生を対象とした、えひめあやめの総合学習、講座の実施②町民による自生地の管理と育成作業③開花時期に、えひめあやめ祭りを実施、一般公開をしています。又、子どもたちが喜んで参加できる行事として盆踊り・花火大会、ほんげんぎょうを開催して、町の活性化と世代間交流を深めています。現在まちづくり協議会の高齢者対策委員会では「デマンドタクシー」を検討し住民が安心して暮らせる町づくりをめざしています。



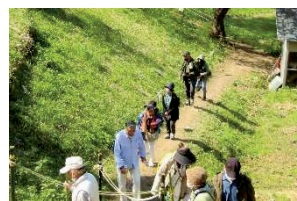
エヒメアヤメ植栽



ほんげんぎょう



夏まつり



えひめあやめまつり

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ渦の中、令和元年度と令和2年度はイベント全くできない事態が続きました。しかしながら、このままではイベントが途切れてしまうとの思いから令和3年度から感染対策を徹底し、一部規模を縮小して手探り状態で開催しました。

そして昨年度のえひめあやめ祭りはフル開催にこぎつけました。

記録と記憶をたどりながら継続性を保ち、逆に何か新しいものを取り入れないか模索しました。

その中で、昨年度から「コロナ渦でも工夫して友達との触れ合いを楽しみました」をテーマに「夏の思い出写真館」を実施して文化祭に展示しています。

今後の展望や夢、目標など

今は行事に参加している人が高齢化しているけど

幅広い年代、特に若い年代・子ども達の積極的な参加を期待して
子ども達にとっても魅力あるまちにしたい！！

【具体的に】

・イベントの告知・行事内容を工夫して、若い世代が参加しやすいイベントを行う。

具体策として

- ① 小学校・PTA にお願ひし、小学生の参加を働きかける。
- ② 公民館だより・自治会回覧板で告知する。
- ③ まち協構成団体に会議などで参加をお願ひする。

・地元企業で働く外国人に地域イベント、行事に経営者を通じて参加を働きかける。

代表者

久保泉まちづくり協議会 会長 井手 裕幸

連絡先

久保泉公民館 住所：佐賀市久保泉町大字川久保 1363 番地 1 電話：98-0001

蓮池まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

- ・ 不定期ではあるが、年に2から3回程開催している「蓮池町各種団体代表者との懇談会」において、まち協役員と一緒にになり団体が抱えている課題や蓮池町全体の活性化につながる諸問題について話し合っている。
- そのため、それぞれとの結束力が強く、お互いの協力体制も整っている。

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

- ・ 蓮池公園を会場にしたイベントを考えている。
- 各種団体がそれぞれ工夫を凝らしたブースを設け、ステージでは演奏会等も開催し来場者に楽しんでもらう。

今後の展望や夢、目標など

今は 蓮池町内の各種団体と協力することで活動している けど
将来は地域の様々な企業とも連携 して
活動の幅を広げた元気のある蓮池まちづくりにし たい！！

【具体的に】

- ・ 町内の企業や子育て中の若い人たちと意見交換が出来る懇談会を開催したい。
- 今までにない取り組みを行うことで、新しい発想が生まれ「まちづくり」に興味を持たなかった人たちが参加することで蓮池の活性化につなげていきたい。

代表者

蓮池まちづくり協議会 会長 山口 泰夫

連絡先

蓮池公民館 住所：佐賀市蓮池町大字蓮池6番地49 電話：97-0070

新栄まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

- ① 季節ごとに、鯉のぼり・七夕・イルミネーション・ほんげんぎょう・雛飾り等、校区民が楽しめる行事を公民館と協力して実施している。
- ② 新栄小学校と韓国トヒョン初等学校との交流を二十年にわたり続けている。
- ③ 秋祭りでは、子どもと大人が一緒になって校区内を巡回し、新栄浮立を披露している。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

- ① 各種行事を例年通り開催し、以前のように大勢の校区民に参加してもらいたい。
- ② 「孤独死のない新栄」を各種役員のみなさんの見守りで実施していきたい。

今後の展望や夢、目標など

今は 夢半ばです けど
地域の各種団体と協力 して
新栄のキャッチフレーズ「あいさつを交わすまち、誰もが躍動するまち、
健幸で安全安心のまち新栄」をつくっていききたい！！

【具体的に】

- ① 若年層を取り入れて、街の発展を進めたい。
- ② 色々な行事に参加者を多数つくり、元気な街をつくっていききたい。

代表者

新栄まちづくり協議会 会長 黒田 利人

連絡先

新栄公民館 住所：佐賀市鍋島町大字八戸 1285 番地 3 電話：23-4907

若楠まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

若楠校区の自慢！それは「スポーツと文化の町若楠」です。SAGA 国スポ・全障スポ 2024 のメイン会場となるサンライズパークと芸術や文化の催しが多く開催される佐賀市文化会館があります。若楠まちづくり協議会は、部会長を含む役員に恵まれています。毎月の役員会では、校区全体の流れを掌握し、月々の行事について活発な意見交換を行っています。「できない」ではなく「どうすればできるか」を前向きに検討し、難しい判断の中でも種々のイベントを実施してきました。

ふるさと納涼祭り



鹿児島国体
応援ツアー



ほんげんぎょう



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

若楠まちづくり協議会や校区各団体の行事を、元の通常開催に戻そう！

コロナ禍であっても、規模縮小等の工夫をしながら行事を行ってきました。コロナ禍が明けた今、その歩みを止めることなく、元の通常開催に戻し「みんなが元気！住みよい若楠」の夢プランに向けて、楽しく、パワフルに活動しています。



今後の展望や夢、目標など

今は 役員の高齢化が進み、人材面で将来が心配だ けど

次世代を担う若手人材の交流懇談会を実施 して

若手人材と一緒に若楠校区を盛り上げていき たい！！

【具体的に】

若楠まちづくり協議会 地域活性化部会が中心となり、若手人材の発掘と交流の場として「若楠人財交流会」を計画しました。まずは、校区内の若手同士が顔見知りになることを目的としています。その後、先輩たちと交流を深め、若楠愛をさらに高め、一緒に若楠校区を盛り上げる仲間となってもらえることを期待しています。また、小学校・中学校のPTA役員が、子どもが卒業しても、地域の役について活躍していただけるよう呼びかけをしています。

代表者

若楠まちづくり協議会 会長 原武 継成

連絡先

若楠公民館 住所：佐賀市若楠二丁目 13 番 1 号 電話：31-6358

開成まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

☆子どもの出番が多いまち 開成☆

11月の「開成ライトファンタジー」は小学生スタッフ、12月の「中学星サンタ」と「クリスマスイベント」は各々中学生と小学生がスタッフとなり大活躍します。特に今年度16回目を迎えた「中学星サンタ」は、これまでにたくさんの子どもたちのもとへプレゼントと夢を運んでいきました。



ライトファンタジー点灯式の様子



中学星サンタ出発式の様子

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

○協働して行う

これまで部会単独で行っていた事業なども、他の部会や各種団体と協働して開催することで、スタッフの人員や参加者数を増やすことができる。
(今年度の例:生活・環境部会と校区子ども会協働による「ろくろ体験」)



ろくろ体験の様子
(小学生)

○既存の事業の見直し

コロナ禍を経て学んだこと(ITを使った連絡の取り方や感染症対策等)を活かし、無理のない範囲で、スムーズに行える事業展開も視野に入れていく。

今後の展望や夢、目標など

今は まだまだまちづくりのことを知ってもらえていないかわからない けど
これからどんどんいろんな取り組みを発信 して
開成って、いつもキラキラしてるよね☆って言われたい!!

【活動の周知】「つながる開成」のQRコードシールを各部会、各種団体に配布し、会議資料、チラシ等に貼付してもらう。

【人材発掘】地域参加型のまちづくりを目指すため、世代間交流事業や、「ちょっとだけおうえんし隊」の募集を展開していく。

【広報活動】各事業の報告をこまめに発信する。「つながる開成(Web)」、「のびゆく開成」(広報紙)

ここからはじめる「人と人がつながる」コミュニティ
つながる
開成



代表者

開成まちづくり協議会 会長 副島 基司

連絡先

開成公民館 住所:佐賀市鍋島町大字森田 27 番地 4 電話:33-9581

諸富町まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

県境をつなぐ筑後川昇開橋は、国指定重要文化財で観光地としても知られています。

そこを起点とした佐賀線跡地に自転車道として整備された徐福サイクルロード沿線には、全国から集めた子供たちの絵画「ふるさとの絵」284枚を陶板にして飾っており、他県からの観光見どころとして役立っています。

各種団体との結束力のあるまち協では、3月に2000本の桜開花に合わせた徐福桜健康ウォーキング行事を実施しております。

今年3月の開催では、350名の参加があり、その活動は、校区内外から好評を得ています。

この他にも、子どもフェスタの開催、諸富町文化祭、老人クラブ大運動会などの多彩な行事を行っております。



徐福さくら健康ウォーキング



第19回子どもフェスタ



諸富町文化祭



老人クラブ大運動会

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

よかところ諸富に、関心を持ってもらうよう

- ・組織構成を考えながら、地域の隅々まで活動が浸透するように体制を工夫していきたい。
- ・つながる諸富やまち協広報紙の内容の検討を図り、読みたい紙面づくりと、取り組み行事の周知に力を注いでいきたい。

今後の展望や夢、目標など

今は まちづくりの活動が地域住民に、十分浸透していない けど
様々な地域団体と連携を密に、まちづくり体制をきちんと して
人と人とのふれあいのある活動の輪を広めていき たい！！

【具体的に】

- ・役員会議や部会の定例会議の開催及び若い世代や女性参画がある環境づくりを図る。
- ・読みたい情報紙づくりと今何があるかわかりやすく発信し、まちづくりに関心を持ってもらい行事参加に繋がるよう呼び掛けていきたい。
- ・地域資源や人材活用、人材発掘等、幅広い意見を求め、新しい取り組みに繋げていきたい。
- ・校区の文化・伝統などの関心を深め、ふるさと諸富、の愛着心を高めていきたい。

代表者 諸富町まちづくり協議会 会長 井手 俊郎

連絡先 諸富町公民館 住所：佐賀市諸富町大字諸富津7番地 電話：47-4995

春日まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

◆春日の郷ふれあい祭◆ 作品 11/3 (金) ~19 (日) 浮立 11/18 (土) 祭 11/19 (日)

【浮立の紹介】



小学生～大人の稽古



春日まちづくり協議会が中心となって、57年ぶりに浮立を復活させ、平成28年3月20日(月・祝)に初披露しました。

現在では、「春日の郷ふれあい祭」で、春日校区内5地区で披露しています。また、演者として小学1年生から80代の方、令和5年度には、女性の笛奏者も4名加わり伝統芸能を地域で継承しています。



舞台発表や大抽選会、こどもスタッフも協力した屋台などで校区民が楽しみました。

◆イルミネーション◆ 令和5年度 12/10 (日) 点灯式 令和6年1月末頃まで設置



まち協を中心に小中高校生と大人が協力して準備し、12月の点灯式から1月末まで設置しました

今後の展望や夢、目標など

人の和、地域の輪があり、楽しくいきいきと生活できるまち

- ◇高齢者が安心して生活できるまち
- ◇健康でいきいきと生活できるまち
- ◇伝統文化の復活と継承を通して、自慢と誇りの持てるまち、美しいまち
- ◇子どもから大人まで明るく安心して生活できるまち
- ◇子どもが成人しても、再び春日校区で暮らしたくなる魅力的なまち



つながる春日 検索

代表者 春日まちづくり協議会 会長 深川 優

連絡先 春日公民館 住所：佐賀市大和町大字尼寺 1875 番地 電話：62-3151

春日北まちづくり協議会

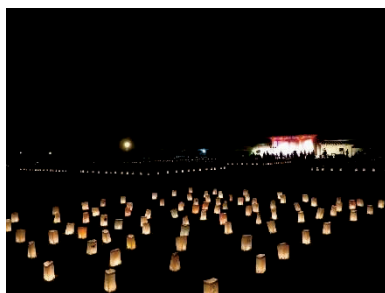
団体や地域の自慢したいこと

春日北まちづくり協議会は、「絆 ～つながり 支え愛 みんな笑顔の春日北～」をスローガンに「自然・文化部会」、「人のつながり部会」、「健康・福祉部会」、「子ども育成部会」、「安全・安心部会」の5つの部会活動をつうじて、豊かで住みよい地域づくりを目指して日々活動しています。

そのうちの主な取り組みとして、自然・文化部会が昨年10月に肥前国庁跡歴史公園で開催した「かすが北“ほのか”PROJECT 2023」を紹介します。

このイベントは“コロナ禍で暗い世の中を春日北から明るくしよう”と昨年度から開催したものでまだ不安が多いこの世の中を春日北から明るくしようという思いから今年も開催しました。

春日北小学校の北っこたちや地域の皆さんの願い事が書かれた1,000個の紙灯ろうを肥前国庁建物跡と南門周辺に灯しました。当日は佐賀市地域振興部文化財課主催の「肥前国庁跡南門ライトアップ&芸能祭」も開催され、響きわたる音楽とライトアップの明かり、そして地域の皆さんの願いがこもった温かみのある紙灯ろうのほのかな灯りが会場全体を幻想的な雰囲気に包みました。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫をしていること

長引くコロナ禍で感染防止対策として対面での交流が著しく抑制される中、まちづくり協議会の活動も大きな変化を余儀なくされました。これからは対面での交流を軸に地域団体との繋がりを深め、地域活性化の向上に貢献できる取り組みを増やしていきます。

その地域活性化の足掛かりとして、今回子ども育成部会が毎年開催していた子ども縁日イベントの内容を拡充した「春日北 大人も子どもも一緒に楽しもう縁日」を昨年12月に開催しました。

当日は700名程の参加があり、スタンプラリー、ジュースなどの早飲み、お米・お菓子すくい、ボーリング、輪投げ、ビーズ・木工教室、販売コーナー、抽選会、ミニ花火大会、ペットボトルツリ一点灯式などを通じて、世代を超えた交流が生まれ、子どもと大人の笑顔が溢れ大きな笑い声に包まれた楽しいイベントになりました。

今後の展望や夢、目標など

今までは、コロナウイルス感染症の影響で地域のコミュニティ活動を自粛していたけれど、これからは、これまで我慢して疲弊していた地域の子どもや私たち大人を元気にするため、地域団体や学校、幼稚園、地元商店と関わり合いながら、世代を超えた活動を軸に楽しく住みたくなるまちを目指したい！！

代表者

春日北まちづくり協議会 会長 永原 秀文

連絡先

春日北公民館 住所：佐賀市大和町大字久池井1756番地1 電話：62-8828

川上校区まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

1. かわかみ凧あげ祭り <子どもから高齢者まで幅広い世代を対象・人と人とのつながり>

(構成団体：まち協、自治会、女性部、川上小PTA、大和中PTA、体協、青少年育成、公民館)

まちづくり協議会他、各種団体が年間を通して、数多くの事業展開をする中、唯一互いの団体が協力体制を取りながらの事業として、かわかみ凧あげ祭りがあります。この事業は、校区内の身近にある地域の自然環境を活かした取組み（大空の新名所）として、毎年凧あげ祭りを開催しています。また、各種団体が川上校区の課題を共有することで、地域連携と活性化を促進することを目的としています。

2. まちづくり協議会各部会の主な取組み

- ①介護予防講座（年間を通しての脳イキイキ・ストップロコモ・音楽サロン・元気アップ教室）
- ②野菜作りと収穫を楽しむ家庭菜園教室、川上産大豆を使った味噌作り教室（各年2回開催）
- ③ゆつつら～と川上フットパス（4コース設定で年4回開催、史跡、神社、仏閣、紅葉など）
- ④子ども（小学4年～6年）川上峡カヌー体験、親子料理教室、
- ⑤高齢者送迎サービス「かわかみ絆の会」通院や社会参加などのための移動手段の確保。
- ⑥見守りを兼ねて独り住まいの高齢者にまち協（農業部会）育てたさつま芋のプレゼント。
- ⑦農業部会で育てた旬の野菜提供（フードバンクさが）
- ⑧みかんの木オーナー制の導入。高齢農家の労力軽減と校区外から人を呼び込むことで活性化。

3. 各団体の主な取組み（まち協、自主防災会、校区社協、民生・児童委員、女性部、公民館）

- ①高齢者一人世帯ふれあい会食会。（佐嘉にわか、歌、踊りなどの出し物他）
- ②川上小の子どもが地域の人と昔遊び。（けん玉・ダルマ落とし・お手玉・コマ回し・羽根つき他）
- ③子どもの安全と見守りを兼ねて（川上小児童とお守り隊との対面式）
- ④災害時の高齢者等要避難者支援名簿と住宅地図作成により避難行動に繋げる体制づくり。
- ⑤地震・豪雨災害を想定した訓練（毎年実地訓練2回、出前講座1回、炊き出し訓練1回）



R5.1 凧あげ祭り



R5.7 嘉瀬川でのカヌー体験



R5.10 フットパス(平野の浮立)



R5.10 みかんの木オーナー

コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

令和5年5月にコロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類」へ移行したことで、これまで取り組んできたことに一層磨きをかけ、少しずつでも前に進めていきたいと思っている。

また、事業の見直しや、時代の流れに即した新規事業の取組みなど、社会環境の変化に柔軟に対応していきたいと考えている。

今後の展望や夢、目標など

1. よかやっこ大和

現在、子育てが一段落した若いお母さんやお父さん達で結成されている、よかやっこ大和（川上、春日、春日北の大和中PTA 0B 17名）。3月31日に川上公民館周辺をメインに、よかやっこ桜まつりの開催のために十数回に亘って会議を重ねられている。お花見をメインとしてステージイベントや露店など盛りだくさんの催しを計画中。地域のつながりを大切にしていきたいとの思いで結成されたそうで、これから地域のイベントなどにも積極的に参加していただければと期待をしているところです。

代表者

川上校区まちづくり協議会 会長 池田 博司

連絡先

川上校区公民館 住所：佐賀市大和町大字川上 3203 番地 1 電話：62-5775

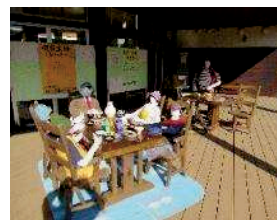
松梅まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

《松梅かかし村》

100体のかかしと6匹の動物が訪れる人を出迎えた。9月頃から各団体や有志一同で作成し、昭和の田園風景や昔ながらの子どもの遊びの姿を再現した。ここで暮らす喜びを感じる取り組みにしたいという思いで準備した。訪れた方には、移住するなら松梅だと思ってもらいたい。

テレビや新聞の取材等もあり多くの見学者が訪れ、「すごいね。」「よくできているね。」と言った言葉に喜びと満足感を味わった。



《松梅さいこうフェス》

30~40代のメンバーが中心となり、「松梅こどもフリマ」を開催した。『地域住民の交流』『子どもたちの進路選択のきっかけ』『地域で経済を回す』を目的に開催した初めてのイベント事業であったが大成功であった。引き続き若者が活動しやすい環境をつくり、今後につなげていきたい。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ禍のことは考えていない。

今後の展望や夢、目標など

今は 大変充実した活動やイベントを行なっている 校区住民がまち協の活動に参加しやすく 更なる発展につなげていき **けど** **して** **たい！！**

【具体的に】

- 今年初めて若者の企画でイベントを開催した。今後も継続して若者がまち協に多数参加できるようにしていきたい。
- 佐賀市で一番人口が少ない校区で高齢化が進んでいるため、イベント事業に関しては、校区民にまち協の活動を知ってもらい、一緒に運営していく流れをつくってきたい。

代表者

松梅まちづくり協議会 会長 岡城 守

連絡先

松梅公民館 住所：佐賀市大和町大字松瀬 2530 番地 1 電話：64-2041

富士まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

◇ まち協設立記念公演

『ピアノカの魔術師』上演

令和3年に設立した、まちづくり協議会の記念公演として、町内の保育園、小学生を対象に、生の舞台の楽しさや感動を共有し、一緒に踊ったりして、おおいに盛り上がり、大変楽しい鑑賞会となった。



◇ ゆるゆる広報部の活動

共催：富士公民館



ゆるゆる広報部では、富士まちづくり協議会の活動や富士町内のイベント等を町民や関係者に発信をし、富士町の魅力や楽しさを伝える活動をしています。又、富士町を紹介したい人が自由に集まり、自由な意見の中から富士まちづくり協議会ならではの活動や広報のあり方を考える活動も行っています。

（1）大学生のアイデアから生まれた「みどり祭り」

▶小学生の頃、サマーキャンプで飲んだ「パセリジュース」を再現し、パセリを使って富士町を活性化できないか。

（2）構成員でなくてもライターOK！「つながる富士」

▶富士町を紹介したい人が自由に集まり情報を発信します。2ヶ月に一度開催するライター会議では、投稿のスキルを学んだり新たな活動について話し合ったりします。

（3）佐賀県1位の生産量「富士町産パセリ」を使ったレシピ勉強会

▶パセリ生産者の協力を得て「富士町産パセリ」を使ったレシピ勉強会を行っています。商品化も視野に入れて新たなレシピを開発しています。



今後の展望や夢、目標など

◇ お山の暮らし見学会&交流会を開催

空き家バンク事業で、移住を希望される方に先輩移住者のおうちや仕事を見学し、山の暮らしを体験してもらい、親切なおもてなしをいただいた。

夕方からの焼肉会・カレーパーティーでは、参加者と移住者との交流を深め、富士町に住んでみたいと思っていただくことを願った。

2021年に、築百年以上の古民家を購入し、移住された、マーティンさん、流暢な日本語と気さくな人柄で、地元の人からも愛され、温泉が大好きで、再生可能エネルギーやお家のリフォーム、果樹栽培などに一生懸命なお方です。



代表者 富士まちづくり協議会 会長 吉浦 明

連絡先 富士公民館 住所：佐賀市富士町大字古湯 2624 番地 電話：58-2882

南川副まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

【3月】コロナで休止していた『あつまろう祭』を4年ぶりに復活し、行事の少ない時期の賑わいづくりに貢献出来ました。

【10月】300万本のコスモスが心を癒す『佐賀空港コスモスマつり』は、昨年に引き続きコスモスマルシェも併せて開催され、期間中6万人を超える来園者で大盛況でした。



その他、環境美化活動として『河川清掃』。健康づくりを目指して『健康ウオーク』。子どもたちに地域の自然と歴史を教える『さるく会』。歴史と伝統で絆を深めるために『海童神社秋祭り子ども浮立』など。これらの活動を通して、地域と世代間を繋ぎ、より良いまちづくりに取り組んでいます。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

- ・コロナ禍を経験した今、以前と全く同じ形ではなく取り組みの進化を意識しています。
- ・コロナに限らず、感染症のリスクやイベント中の怪我など、主催者として考えねばならない、リスクマネジメントを協議会会員全員の共通認識と捉えています。

今後の展望や夢、目標など

今は、4部門の会員が発案・企画などを行っている けど
今後は、所属団体等にとらわれず、会員の改選・増員をして
地域コミュニティーをまち全体で考え、実践して行き たい！！

【具体的に】

- ・子育て世代（PTA等）と連携し、継承すべき地域の歴史・特に川副の成り立ち（干拓史）を子どもに伝えるための講座や教室を開催し、子どもと同時に親世代にも伝えたい。
- ・これまで地域行事に参加していなかった人たちに興味を持ってもらうために、南川副のDX推進に取り組み、若い世代に興味を持ってもらい、組織の若返りや人材発掘につなげたい。

代表者

南川副まちづくり協議会 会長 副島 利孝

連絡先

南川副公民館 住所：佐賀市川副町大字鹿江 422 番地 1 電話：45-8919

西川副まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

1. きずな祭

地域の絆・交流・活力部会を中心に、6つの部会が連携、協力し合って、毎年3月の第2日曜日に開催。各ブースでの模擬店など物品販売や川副中学校吹奏楽部、キッズチアダンス、ハンドベルサークルなどイベント盛りだくさんの内容です。

祭の最後に実施するお楽しみ抽選会は、お米、海苔、きゅうり、なす、イチゴ、大豆など地域の特産品を生産者や提供者を紹介しながらプレゼントする一大イベントです。

2. 農業体験学習の支援活動

毎年、西川副小学校の児童の農業体験を支援しています。1年生はさつまいも、2年生はじゃがいも、4年生は大豆を栽培し、収穫の時には子どもたちの大きな歓声があがります。特に4年生は、収穫した大豆を茹でて枝豆にして試食したり、豆腐作りをしたり、きずな祭で販売をしたりと、年間を通じた活動となっています。



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

ウィズコロナの時代、室内イベントではマスクの着用と手指消毒を続けながら、飲食の提供については緩和していきたい。(例 健康教室、きずな祭、枝豆の試食など)

今後の展望や夢、目標など

今は 後継者の育成が課題だ けど
イベント参加者から人材を育成 して
「未来へはばたくまち 西川副」を実現し たい！！

【具体的に】

西川副まちづくり協議会が発足して10年が経過し、後継者育成が最大の課題となっている。発足時から役員の顔ぶれがほとんど変わらない。構成員を増やすためにも、イベント毎に参加者の中から人材を育成しなければならない。役員、部会長の役割は大きい。

代表者

西川副まちづくり協議会 会長 坂田 元秀

連絡先

西川副公民館 住所：佐賀市川副町大字西古賀 260 番地 1 電話：45-1478

博愛の里中川副まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

私たち「博愛の里中川副まちづくり協議会」は、5部会がそれぞれに地域色豊かな行事に取り組んでいます。

又、各部は、自治会、校区社会福祉協議会、食生活改善推進委員会、校区老人クラブ、小中学校のPTAと手を取り合って協働で行事を行っています。

今年度に取り組んだ主な行事を紹介します。

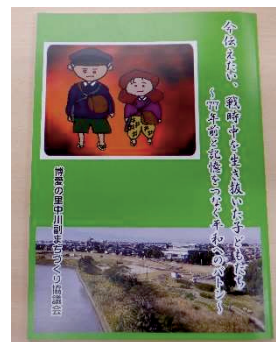
新春三重津カルタ大会（1月）



歴史探訪ウォーキング（毎月一回）



戦争の体験談集の発行



世界遺産（三重津海軍所跡）



佐野常民の博愛精神の伝承（佐野祭）



ふれあいレクリエーション大会



コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

昨年9月に立ち上げた自主防災会で避難訓練を行う。8月末に盆踊り大会開催予定。

今後の展望や夢、目標など

中川副では各部署でそれぞれ行事を行っているが、より良く絆を深める為に呼名を会長、部長などと呼ばないで全員上下関係なく「さん」づけで呼び合い絆をいっそう深めたい。

代表者

博愛の里中川副まちづくり協議会 会長 江口 善己

連絡先

中川副公民館 住所：佐賀市川副町大字早津江 27 番地 1 電話：45-4173

大詫間まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

○九州最大のツバメのねぐら～

大詫間には、毎年夏の終わりになると南方への渡りを前にしたツバメが一斉に集まってきます。夕方になり日が傾くと河川敷のアシ（ヨシ）原は徐々にツバメの鳴き声で騒がしくなり、なんと最大2万羽ものツバメが「ねぐら入り」します。今年も県内外から多くの方がこのねぐら入りを見ようとやってきて、双眼鏡をのぞきながら大きな歓声を上げておられました。

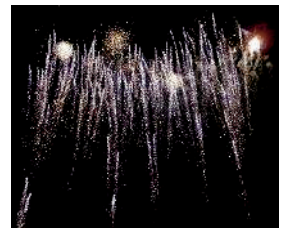


コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

○地域挙げての「夏祭り」を復活したい

昨年夏、まち協、公民館、PTA が発起人となり、夕涼み会を開催しました。射的、ヨーヨーすくい、かき氷、フランクフルトなどの出店があって、舞台を囲んで盆踊り、最後は打ち上げ花火があり、500人ほどの人出でにぎわいました。コロナ禍で密集や飲食が制限され、人々の交流が薄れかけていましたが、多くの方から「よかったねー、またやって」との声がありました。

本格的な夏祭りの開催には多くのスタッフ、資金、そして準備期間が必要ですが、地域最大の交流イベントに育て上げられたらいいなと思っています。



今後の展望や夢、目標など

今は まち協のイベントに参加してもらっている けど
主催者と参加者の区別をなく して
みんなが主役で、運営もして楽しむまちづくり団体にしたい！！

【具体的に】

- 1 もっと広報に力を入れて、幅広い層の参加者が増えるようにしたい。
- 2 イベントの開催では、簡単な運営スタッフ業務を担ってくれる人を、その都度募集したい。
- 3 参加・応援の意識を高めるためにも、地域からの寄付や賛助金がいただけるようにしたい。

代表者

大詫間まちづくり協議会 会長 加茂 龍二郎

連絡先

大詫間公民館 住所：佐賀市川副町大字大詫間 560 番地 1 電話：45-4480

東与賀まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと

「ひがさす」広場で「夕暮れコンサート」を開催

東与賀まちづくり協議会「地域の活性化部会」では、毎年9月に地域の魅力を発信する事業として、東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」広場で「夕暮れコンサート」を開催しています。このコンサートはラムサール条約湿地に登録された「東よか干潟」を広く知ってもらうとともに、干潟の保護と地域の活性化を促進するために開催しているもので、今年で8回目となりました。

演奏は毎年、佐賀県音楽協会会長・佐賀県打楽器協会会長の吉原敏郎氏ほかの皆さんにお願いしています。なじみの曲や懐かしい曲の演奏、リズム遊び、楽器の紹介など、来場者と一緒に楽しめるプログラムになっています。このほか、同部会では毎年2月に地域の自然とふれあい、活気あるまちづくりを推進するため、凧あげ大会を実施しています。

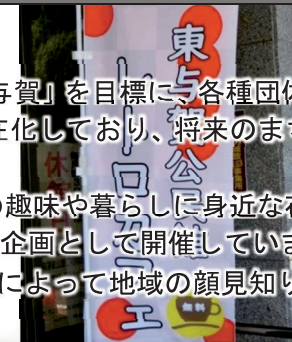
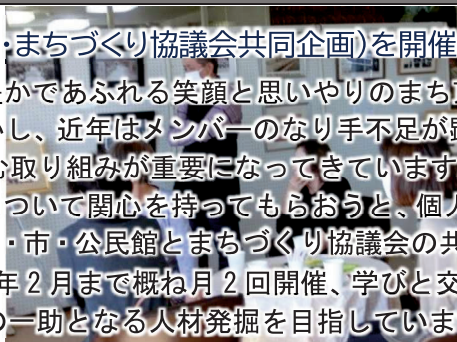


コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

課題解決支援講座(県・市・公民館・まちづくり協議会共同企画)を開催中

東与賀まちづくり協議会は「自然豊かであふれる笑顔と思いやりのまち東与賀」を目標に各種団体とともに活動を展開しています。しかし、近年はメンバーのなり手不足が顕在化しており、将来のまちづくりのためにも地域への愛着を育む取り組みが重要になってきています。

そこで、多くの住民にまちづくりについて関心を持ってもらおうと、個人の趣味や暮らしに身近な存在の「写真」をテーマとした講座を県・市・公民館とまちづくり協議会の共同企画として開催しています。講座は令和5年10月から令和6年2月まで概ね月2回開催、学びと交流によって地域の顔見知りを広げる機会を提供し、まちづくりの一助となる人材発掘を目指しています。



今後の展望や夢、目標など

今は 鹿児島県出水市が日本最大のツルの越冬地だ けど
ツルが集中する出水市での鳥の伝染病のリスクを減らして
東与賀をツルの越冬地にし たい！！



デコイ設置のよう

【具体的に】 東与賀をツルの越冬地に

大陸から日本に渡るツルの越冬地を鹿児島県出水市から東与賀の圃場に分散させようと昨年10月29日、日本生態系協会、日本野鳥の会佐賀県支部と地域住民が協力して圃場にツルのデコイ（模型）を設置しました。毎年1万羽以上のツルが飛来している出水市での鳥の伝染病流行のリスクを減らすのが目的です。県内では、2003年から伊万里市長浜干拓でツル分散計画が実施されていましたが、ツル同士の縄張り争いなどで越冬地としての定着が難しく、19年に伊万里市が事業を廃止していました。

東与賀町は大陸と出水市とを結ぶルート上にあり、ここ数年ツルが飛来したとの情報が寄せられていました。東与賀は水田が広く複数のツルの群れが縄張りを確保でき、また、冬期は圃場に水を張って雑草を防ぐ環境配慮型の農業が行われており、水辺で睡眠をとるツルの生態を考慮するとこの誘引計画に適しています。今回デコイを設置した場所は、当まちづくり協議会の会員の圃場でもあり、今後、まちづくり協議会としてもツルの飛来定着に協力していきたいと考えています。

代表者

東与賀まちづくり協議会 会長 富吉 宣仁

連絡先

東与賀公民館 住所：佐賀市東与賀町大字田中 423 番地 1 電話：45-0375

久保田まちづくり協議会

団体や地域の自慢したいこと♪

1. 毎年、町内各団体（21団体）の年間行事予定を集約し、予定表を作成しています。町内で何がいつあるのか一目瞭然です。年度当初に町内全戸配布しています。
2. 「久保田まちづくり協議会だより」を毎月発行し全戸に配布しています。今月で通算123号の発行となりました。地域の情報紙となっています。
3. 外出支援事業である『さるこうカー』を運行しています。6年が経過しました。外出弱者にとってなくてはならないものとして定着しています。運営は、全てボランティアです。運転手の方へは、少額の費用弁償のみです！
4. 有明海再生を願い、「さが水ものがたり館」と組んで、毎年、有明海に竹立てを行い、牡蠣礁造成に取り組んでいます。牡蠣も大きくなり、牡蠣礁も出来つつあります。県からも牡蠣礁復活の成果が出ていると応援メッセージをいただいています。
5. 毎日、児童生徒の見守り活動を実施しています。登校時には、交差点での声掛けパトロール、下校時には青色パトロールの巡回です。月二回の夜間パトロールも実施しています。久保田駅に防犯カメラ・駐輪場には『鍵をかけましょう』の看板を設置しています。
6. 『精霊流し』を嘉瀬川河川敷で開催しています。市内では久保田だけになりました。
7. 毎年実施している親子釣り大会、花づくり教室は参加制限するほどの人気イベントです。
8. 認定こども園や保育園で餅つき会を実施し、園児たちに大人気です♪



年間行事予定表



まちづくり協議会だより



有明海再生 牡蠣礁造成

今後の展望や夢、目標など♡

- ★各団体の活動を引き続き支援
- ★人材の発掘

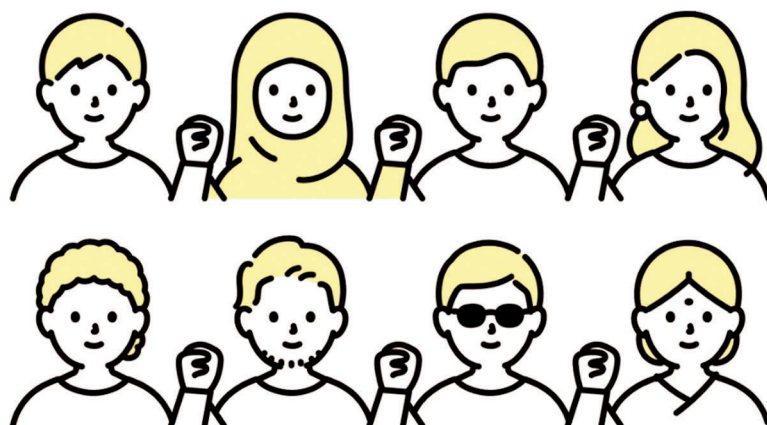
- ★現行活動の維持・充実
- ★住みよい地域への寄与

代表者 久保田まちづくり協議会 会長 久野英徳

連絡先 久保田町大字新田3313-3 ☎68-3130

活動の紹介

市民活動団体





企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

愛未来は、1997年 佐賀生まれの国際協力団体です

I フェアトレードの普及推進

- ・フェアトレードフェスタの開催
- ・世界フェアトレードデー(5月第2土曜日)の取組
- ・フェアトレードタウンの取組



II スリランカとの友好交流と支援活動

- ・スリランカ友好交流訪問
- ・農村女性の自立支援
- ・スリランカカレー料理教室の開催



III パラオとの友好交流と支援活動

- ・パラオ友好交流訪問
- ・健康づくり支援(佐賀大学医学部と協力)
- ・農業技術支援
- ・パラオ生活文化体験村づくり支援



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

フェアトレード
あなたの小さな行動がまちを、世界を変えます

フェアトレードとは、公平な取引を行うことで、
貧困のない**フェアな社会の実現**をめざす取り組みです

フェアトレードは、誰でも気軽にできる買い物を
通した SDGs の実践行動です

世界中のつくる人・つかう人が笑顔になれる
フェアトレードの輪を佐賀でひろげましょう!



【連絡先】

- ・団体名：特定非営利活動法人愛未来
- ・代表者：理事長 竹下敦子
- ・住所：佐賀市久保田町大字久保田 86 番地 1
- ・電話：090-2583-4716
- ・メールアドレス：npo.aimirai@gmail.com
- ・ホームページ：https://aimirai.jimdo.com



ホームページ



youtube

NPO法人おせっかい工房咲風里

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

「おせっかい工房 咲風里（さぶり）」では、こころの健康に問題がある人、こころの健康に関心がある成人を対象に、個人の心理・社会面を捉えたトータルな支援を目指しています。

この3年間のコロナの影響を振り返ってみると、今まで考えもしなかったような生活や働き方が求められるようになりました。私たちの取り巻く環境は常に大きく変化し、先を予測できないことが次々と起こる時代になっています。このような環境の変化に対応しストレスを感じた場合でも、上手にストレスに対処する力が必要とされています。

今年度は佐賀県地域自殺対策強化事業令和5年度補助金にて、「マインドフルネスの実践法」リーフレットと、一般財団法人佐賀銀行社会福祉基金令和5年度事業助成金にて「働き方と休み方の工夫」冊子を作成しました。



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

今年度も佐賀市市民活動プラザ「市民活動プラザフェスタ」で無料相談会とマインドフルネス体験を実施いたしました。体験された方には、「背筋が伸びてすっきりした」「心が落ち着いた」などのご意見をいただきました。今年作成したリーフレットと冊子は佐賀県内の公共施設などにも配布しておりますので、より多くの方に体験し、効果を感じていただきたいです。



リーフレットや冊子、講座の予約のお問い合わせなどについては、おせっかい工房咲風里のホームページやフェイスブックでも案内しています。

また、咲風里では、悩み事や困り事を気軽に相談できる場の提供として KOKORO の相談室を開催しています。場所は佐賀市市民活動プラザ、毎月1回、奇数月は第2火曜日の13時から16時、偶数月は第4金曜日の18時から21時に開催しております。完全予約制ですので、お問い合わせは下記の連絡先までよろしくお願いいたします。

連絡先



お問い合わせ/NPO法人 おせっかい工房 咲風里(さぶり)

TEL 080-3373-0077 FAX 0942-55-4664 メール sapuri-kouza@outlook.jp
URL <http://npo-sapuri.com> <https://www.facebook.com/npo.sapuri>



かち PICA

企業や NPO 等の得意なこと (活動内容など)

精神医療利用当事者自助グループです。障害のあるなしは問いません。

PICAPICA はカササギの学名です。それぞれが自分には価値があると感じられるようにと語りあいなどの活動をしています。一時的に通っている方でも、ずっと通院されている方でも日常のこと、仕事のことや悩み、恋愛のこと、子育てのことなど自由に話しています。

かたるかい・べんきょうするかい・うんどうするかい・うえぶ茶会
(zoom にて全国から参加) を各月一回、開催しています。

安心できる環境でなんでも語り合うことや、就業のための勉強
や軽い運動などを行うことで、こころや生活の回復、QOL の向
上につなげています。



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

私たちの活動があることを、地域の方やお知り合いなどへご紹介をお願いします。

将来的には、地域の見回りや声掛け、自治会などの PC 作業代行などを事業化していきたいと思えます。



連絡先 かち PICA Web ページ <https://picapica-1.jimdosite.com/>

メール: katipicasaga@gmail.com

TEL: 080-5246-5030 (代表の個人携帯)



SAGA アウトドアガイドクラブ

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

登山などの自然体験活動のサポートしてる NPO 法人です。

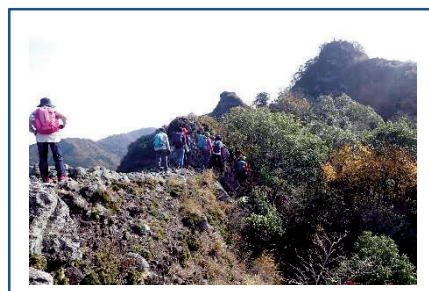
仲間がない、一人では不安。でも色々体験たいしたと思って方向けに、初心者中心の登山が主な活動です。日本国内どここの山でガイドできますよ。

その他各種教室や講演なども行っています。

旅行会社へのガイド派遣及び企画運営の経験は豊富です。

企業に新人講習も行った実績もあります。

現在は佐賀県から委託を受けて九州自然歩道の巡視活動を行っています。ガイドされたい人、したい人どちらも募集中なので気軽に声をかけてください。



写真は国東の岩場を登山

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

まちづくりの方と、アウトドア教室などを行えたらいいかと。

キャンプ教室・アウトドアクッキング・子供向け自然体験活動・初心者向けの登山教室等教室のノウハウや装備等は、私達がしっかり持っているので、場所の提供と宣伝すなわち教室参加者の募集をお願いできればと考えています。

収益事業（登山教室など）とボランティア事業（子供の自然体験活動等）としっかり分けて行わないと赤字の垂れ流しでは続かないのでその点ご理解下さい。

しっかりリスクを認識して協働して出来ることを期待してる。

写真は洞窟探検と川遊びで投網の体験の様子



連絡先

佐賀県佐賀市金立町金立 1197-352

0952-37-0577 (FAX 兼用)

E-mail : sod@guide-club.jp

URL : <http://guide-club.jp/>

検索 : アウトドアガイドクラブ

特定非営利活動法人佐賀県 CSO 推進機構

佐賀市市民活動プラザ指定管理者

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

～自立した CSO・行政・企業がつながり、ささえあう佐賀づくり～

地域の NPO・ボランティア活動の支援施設に代わるポータルサイト「さが CSO ポータル」の運営管理を含む佐賀県の事業「ボランティア活動・CSO 活動支援に関する情報発信委託業務」の受託、主に佐賀市の CSO（市民社会組織※）の支援を行う施設「佐賀市市民活動プラザ」の指定管理、そして、県内外問わず佐賀県に関わる方々の案内、相談対応等を行う佐賀県庁新行政棟 1 階「行政の窓口」の運營業務を行っています。



- ・ 2月9日（金）19:00～21:00 | 人材育成研修（こなす力）「知っておきたい団体の事業承継と終活～NPO 法人の変更・解散手続きに学ぶ～」(Zoom 併用) ※チラシ参照
- ・ 2月17日（土）13:30～15:00 | 交流ゼミナール第5回「犯罪被害者等現状と求められる支援～犯罪被害者の声に耳を傾け、寄り添う～」(Zoom 併用・Facebook ライブ配信) ※チラシ参照

※CSO の例：NPO 法人、市民活動団体、まちづくり協議会、子ども会、老人会、PTA など

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

～IT によるシェアの力で普段の活動を楽に、そして効率的に～

市民活動・地域活動の再活性化ならびに生活環境の変化著しい若い世代も参画しやすい活動環境づくりを目的に、IT 活用やデジタル化による新たな活動様式の獲得および定着のための支援活動を行っています。例えば、イベントでオンラインを取り入れることは、移動の時間短縮だけでなく、さまざまな不自由やリスクに対し情報を保障する点で「参加のバリアフリー」と捉えています。

支援の例：活用のための講習会開催(ChatGPTや画像生成AI、Instagram、チラシデザインCanva、クラウドファンディング)、ハイブリッド開催・ライブ配信の出張支援、事例紹介、各種相談



「活動をはじめたい」、「活動で困っている」、「IT を活用したい」など、お気軽にご相談ください▼

連絡先①

特定非営利活動法人 佐賀県 CSO 推進機構
(代表理事：野口 淳子)
佐賀市呉服元町 2-24 呉服元町ビル 10 号
TEL：080-4282-8061 (法人携帯)
E-mail：cso.sprt@min-nano.org
ホームページのアクセスリンク▶



連絡先②

佐賀市市民活動プラザ
(プラザ長：秋山 翔太郎)
佐賀市白山二丁目 1-12 佐賀商エビル 7 階
TEL：0952-40-2002
E-mail：plaza@tsunasaga.jp
ホームページのアクセスリンク▶



特定非営利活動法人日本防災士会佐賀県支部 佐賀県防災士会

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

●防災士会とは

- ・防災士とは自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを、日本防災士機構が認めた人。
- ・平成22年佐賀県防災士会設立 現在7つの防災活動推進プロジェクトチームを作り活動中。

●得意な活動内容

- ・平常時の活動⇒防災講演会、防災訓練や自主防災活動支援（防災情報活用方法、災害時トイレ、AED体験、応急手当方法、非常食の種類・調理、非常持出袋、車中避難の方法など）
- ・防災教育⇒防災授業、防災ゲーム（大雨ワークショップ、クロスロードゲームなど）
- ・災害時活動⇒避難所運営支援、自主防災組織や自治会等地域の応急対応や活動支援
- ・災害発生後の復旧活動⇒ボランティアセンター活動支援、被災地支援ボランティア活動



防災講演会



防災展示体験



AED救命体験

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

地域の自治会や自主防災組織、まちづくり協議会等と連携した防災活動を行い、個人の自助力や近所、地域の身近にいる人同士が助け合う近助力、共助力の向上など、地域全体の防災力向上に寄与したい。

（例）

- ・自主防災組織やまちづくり協議会、校区社会福祉協議会等と連携し、地域住民のための防災講座を開催したい。
- ・自主防災組織やまちづくり協議会と連携し、防災訓練や防災研修会、講習会等を開催したい。
- ・自治会やまちづくり協議会主催の各種イベント（夏まつりなど）で防災展示を行いたい。



校区社協研修会



地域防災講座



校区防災訓練



まなびいフェスタ



NHK佐賀夏まつり

連絡先 特定非営利活動法人日本防災士会佐賀県支部 佐賀県防災士会 代表 溝上良雄
佐賀県防災士会事務局 〒840-0864 佐賀県佐賀市嘉瀬町萩野110
TEL : 090-1349-6387 (溝上) e-mail : m3kan4on18@b1.bunbun.ne.jp (溝上)

佐賀市観光ボランティアガイド

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

佐賀市観光ボランティアガイドは、佐賀城下ひなまつりのボランティアガイドとして2002年度から始まり、2009年にボランティア組織を立ち上げて活動を行っています。毎年開催される「佐賀城下ひなまつり」と年間を通して歴史民俗館や賢人コース、神社めぐりコースなどをメインにガイドを行っています。

2019年から11月の創立記念日に合わせて「ともに歩こうさがん町」と題して、佐賀市民対象で町歩きも行っています。毎月1回の定例会では活動報告や活動計画を話し合います。その中で、ガイドコースを歩いてみる勉強会や県内を中心とした現地研修会へ全員参加を目指して出かけていき、共通理解を図りながら学び、「チーム観ボラ」として連携を深めています。

また、日頃の感謝を込めて佐賀市歴史民俗館周辺の清掃活動も行っています。



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

地域の研修や県外からのお客様などのおもてなしに連携することで佐賀のことをより知っていただき佐賀の認識を深めていただけるのではないかと考えます。それぞれ違う分野の団体との連携で魅力的な佐賀になることは全体の向上に繋がると思います。

ぜひ、ともに歩きましょう。

そして、「佐賀はな～んもなか」から脱出して、みんなで佐賀の魅力の向上を目指しましょう。会員も随時募集しています。一緒に佐賀の歴史を学びましょう。



連絡先 一般社団法人 佐賀市観光協会 担当：川崎

〒840-0801 佐賀市駅前中央1丁目4番17号 コムボックス佐賀駅前1階 SAGAMADO 店

☎0952-37-7489

Mail info@sagabai.com

特定非営利活動法人

シニア情報生活アドバイザー佐賀

市民活動団体

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

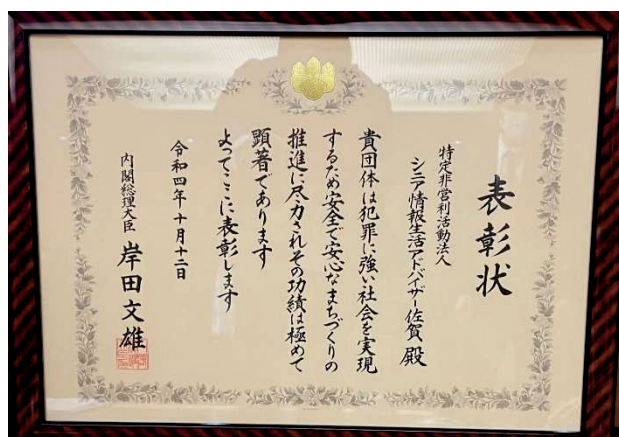
情報化に遅れがちなシニア世代が、パソコンやインターネットを利用して、より楽しくて活動的な生活が送れるようにサポートをしています。

◎ 活動内容

1. 経済産業省の外郭団体「ニューメディア開発協会」認定の「シニア情報生活アドバイザー」の養成団体で養成講座をおこなっています。
2. パソコン教室 ・ 佐賀市民活動プラザ ・ 嬉野市塩田公民館
3. 佐賀県警よりサイバー犯罪防止ボランティアの委嘱を受け、佐賀県内各地の公民館や老人クラブでサイバー犯罪防止セミナーを開催
4. 佐賀県高度情報化推進協議会の助成を受けて佐賀県各地で高齢者初心者むけに「ICT 困りごと相談会」を開催
5. 佐賀県内各地の公民館等からの要請でパソコン・スマホ・ipadの講習会講師
6. 当会ではスマホ・パソコン端末・講習用の機材を所有し、10名以上のグループからの講習会の依頼に応じられる。

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

デジタル活用支援推進の講座の講師としてお手伝い



代表者

特定非営利活動法人 シニア情報生活アドバイザー佐賀 代表 久野美津代

連絡先

住所：佐賀市白山2丁目2-12 佐賀商エビル7階 市民活動プラザ内レターケースNo.13

TEL：080-8582-2946 E-mail：nadesiko23@gmail.com

特定非営利活動法人 セルフ

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

① 代表の安永は日本で初めての発達障害専門美容師

- ・全国でも珍しいバリアフリー美容室店舗展開
- ・入口にはスロープがあり、車椅子のまま入店出来る。
- ・車椅子のまま、カットやシャンプー等施術が出来る。
- ・身障者用トイレ完備
- ・発達障がい者(児)の為にカット手順書がある。
- ・DVD・タブレット視聴しながらの施術が出来る
- ・感覚過敏等に対応するため完全予約制。

2013 年佐賀県ユニバーサルデザイン賞優秀賞受賞

② 発達障がい者(児)支援活動

支援のための障がい理解・支援方法の講座開催

。受講後、受講者は当事者と一緒にイベントに参加する。

2015 年より佐賀女子短大子ども未来科と

発達支援士取得のための実習機関として認定される。

2020 年西日本地域の大学で保育学科の教科書に活動掲載。



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

発達障がいビギナーズ講座

『発達障がい理解と支援方法』
～分かったらハマる発達障がい～

最近、発達障がいってよく聞くけど、どんな人(子)たち？
接する時に、どんな風に関わればいいのかって思いますよね。



そんな皆さんの疑問や不安を少しでも和らげられたらいいな。という想いで
障がい児を持つ保護者がわかりやすく支援方法をレクチャーする講座です。
発達障がいを持つ皆さんを支援している・興味があるなど、そんな方すべてに
受講して頂きたいと思っています。

連絡先

特定非営利活動法人 セルフ

- ・安永 康子
- ・藤田 英里子
- ・佐賀市水ヶ江1-13-26
- ・090-2512-0364
- ・cutself@icloud.com

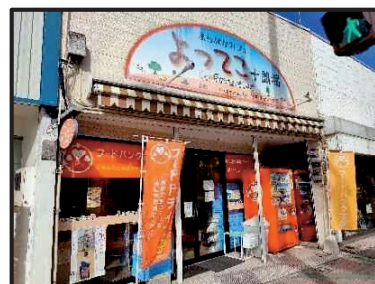
特定非営利活動法人フードバンクさが

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

・フードバンク事業

無償でいただいた、食品や日用品をこども食堂や福祉施設など通じて必要とされている方々に無償で提供しています。

2022年度は118団体に50,050kgを提供しました。



・食品ロス削減啓発活動

食品ロス削減のみならず、SDGs、環境啓発等のイベントに参加・出展しています。

小売店や施設のフードドライブ（食品寄付イベント）を実施しています。

- ・食育と農業を組み合わせたプロジェクトも実施中。休耕地をお借りして野菜を栽培し、収穫物をこども食堂などに提供しています。食の大切さ・食への感謝の気持ちを育むための実践的な食育活動です。



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

地域の皆さんに支えられ、また地域の食支援活動を支えていきたいと考えています。

・家庭の未利用食品の活用へのご協力

食品寄贈あつてのフードバンクです。地域の家庭からいただくことで、より幅広い食品を提供することが出来ます。フードバンクさが事務所だけでなく様々な場所でフードドライブ（食品寄付活動）を受け付けています。

・地域のこども食堂やパントリー等の立ち上げ時の協働

地域で食支援活動を始める際にはぜひご相談ください。食支援は継続が期待されますし、食品の取り扱いには思ったよりも手間がかかります。規模や頻度など一緒に考えていきましょう。

・「食育と農業」を広げていくために地域の皆さんと共に取り組みたい

食品ロスの活用が第一ではありますが、食の大切さを伝えること、さらに「栄養の貧困」への対策として農業にも取り組んでいきます。皆様のご協力で生産現場から広げていきましょう。



連絡先

特定非営利活動法人フードバンクさが

〒840-0813 佐賀県佐賀市唐人一丁目1番14号 よって二十間堀

Tel : 0952-37-1300 Mail : tsunagu@fb-saga.org

夢つなぐ応援隊

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

私たちは笑顔やワクワクする心を大切にする仲間が集まり応援体制をつくりました。日頃は「笑顔」「夢」「想い」「安心」「子ども」などをキーワードにそれぞれの活動を行いながら、お互いの活動をサポートし合っています。そして、子どもさんや他団体様の「〇〇をやりたい」「〇〇をやってみようかなあ」を引き出すとともに、その実現のために連携し応援活動しています。誰かのひと言や想いをカタチにすることが得意な3人です。お気軽にお声かけくださいませ。

アロマオイルで癒され中



隊員名：えみちゃん
楽しいこと、みんなと一緒に楽しめるコトを提案できます。

本物の味を追求中



隊員名：みっちゃん
時間を共に過ごす人と一緒に楽しめるコトを提案できます。

うれしの茶大好き



隊員名：たまちゃん
ココロが元気になる笑顔になるコトを提案できます。

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

まちづくり協議会や子育てサークルの皆さんとモノづくりワークショップや、自己啓発等講座を開催し、地域のみなさんが笑顔いっぱいになる活動を通して佐賀を元気にしたいと思っています。私達といっしょにワクワクしながら笑顔いっぱいの時間づくり・場づくりをしませんか？

本物にふれるモノづくり

糸掛けワークショップ
ひょうたんランプづくり
木育ワークショップ
アロマエッセンスを使って
佐賀県農産物の加工品・料理づくり
など

自分のココロとチカラに気づく講座

ココロとカラダを整える講座
こころの教育講座
夢プラン作成支援
人生すごろく 大人のためのキャリア支援
日本茶でホッと一息
など



糸掛けワークショップ



アロマ入浴剤



日本茶講座



こころの教育講座



曼茶羅ぬりえ

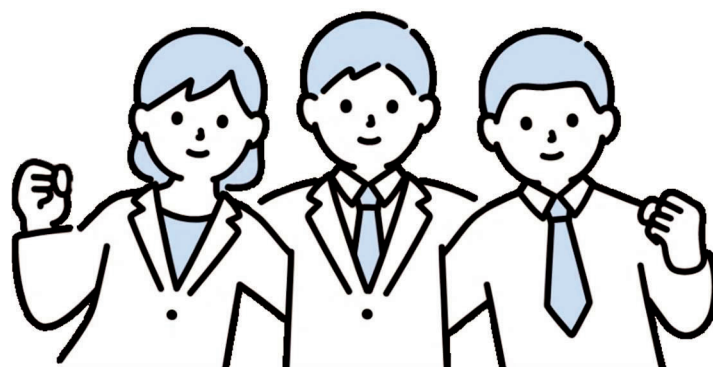
連絡先

団体名：夢つなぐ応援隊
担当者：志波環恵（隊員代表）
連絡先：佐賀市天神1丁目
メール：tammykurry@yahoo.ne.jp

活動の紹介

企業

企
業



九電グループ



企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

九電グループは、地域とスクラムを組み、真に豊かな社会とは何かを考え、行動します。快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指す「良き企業市民」として、地域・社会との共生活動を行っています。

●地域の皆さまと一緒にやる協働ボランティア「こらぼらQでん」

地域の課題に対して、地域の皆さまと一緒にボランティアの力で解決していく協働プログラム「こらぼらQでん」に取り組んでいます。

●地域行事へのボランティア参加やブース出展

佐賀市をはじめとする自治体や、地域が主催するイベントや清掃活動等にボランティアとしてお手伝いしているほか、子ども向けのブース出展等でもご協力しています。

●出前講座

地域の婦人会や老人会などの集まりに九電スタッフが伺いし、身近な電気のこと、環境やエネルギーについて、分かりやすく説明するとともに、ご意見やご質問にお答えしています。



こらぼらQでん（鯨の門清掃）

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

佐賀市と九州電力(株)佐賀支店は、SDGs・カーボンニュートラルの達成に向けた協働による取組みを通じて、人づくり、地域づくりに努め、佐賀市における持続可能なまちづくりを推進するため、「**持続可能なまちづくりに関する連携協定**」を締結しました。

この連携協定に基づいて、佐賀市との協力を進めていますが、地域の皆さまとも、地域だけ、行政だけ、企業だけでは解決できないことを、お互いの強みを活かして協力しあえる活動に力を入れています。

私たちの“強み”は「九電グループ」の経営資源を活用した“地域の課題解決”です。九電グループの幅広い事業運営体制を活用し、地域の皆さまの課題解決のお役に立ちたいと考えています。



ふるさと美化活動への参加

連絡先

九州電力株式会社 佐賀支店 企画・総務部 地域共創グループ

〒840-0804 佐賀市神野二丁目3番6号 TEL: 0952-33-1257 (直通) FAX: 0952-33-1207



佐賀建設労働組合

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

佐賀建設労働組合は、佐賀県建設労働組合連合会（組合員数／約 3,700 人）の傘下組合として、主に佐賀市内の建設関連業種の職人・一人親方・事業主で組織する「技術・技能者の団体」です。主な事業としては、建設技能者の労働環境の改善に係わる取り組みの他、佐賀県建設国民健康保険組合、労働保険事務組合、建設業退職金共済事務組合と建設技能者の育成を目的とした佐賀建設組合技能士会、佐賀建築技術専門学院（認定職業訓練校）等の事業運営をおこなっています。

平成 25 年度から佐賀県職業能力開発協会が国から受託して実施している「若年技能者人材育成支援等事業」の中核となって活動する“ものづくりマイスター”の認定に係る熟練技能者の推薦、さらには認定後の当技能士会所属のものづくりマイスターによる小・中学校での“ものづくりふれあい体験教室”での講話や体験指導などの活動をしています。また、平成 28 年度から「家族とふれあい木工教室」に取り組み、令和 5 年度現在では佐賀市内の 7 校区で開催。この取り組みの功績により令和 4 年度第 13 回まなざしキラリ賞の大賞（団体部門）を受賞しました。



【市内中学校での体験教室】

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

佐賀建設労働組合では、「家族とふれあい木工教室」を各地域の“まちづくり協議会”の皆さんと連携しながら佐賀市内の全校区（1 校区 3 年間）に少しずつ広めていきたいと考えています。社会が持続的に成長していくためには、次の世代を担う子どもたちを健全に育むことが必須要件となっています。

そうした中で、木のぬくもりや木の香りなど、木のよさを感じることは、豊かな心を育むと確信しています。子どもたちを対象にした木工教室は、木の自然素材に触れながら、のこぎりや金づちなど、ふだん使えない道具を用いて作品をつくっていく「物づくりの楽しさ」も体験することができ、作品づくりを通して、子どもたちの感性も磨かれていくものと思います。

また、このイベントには、佐賀市役所森林整備課にも協力を頂き、材料費の一部助成の他、環境教育として森林の役割や林業の仕事などについての映像提供を受けて子どもたちに森林の大切さについて学んでもらう機会を設けています。



【家族とふれあい木工教室】

連絡先

佐賀建設労働組合

〒849-0936

佐賀市鍋島町大字森田 512-1

TEL : 0952-34-4393 / FAX0952-34-4395

E-mail : sagakensetsuunion@gmail.com HP : <https://sagakenren.jp>



佐賀建連 HP

佐賀信用金庫

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

- クラウドファンディング インターネットで寄付を募集するシステム。
寄付者に返礼品をお送りする仕組み。（過去4件成約）
- ビジネスマッチング しんきん合同商談会（2年毎に開催）福岡マリンメッセ会場
佐賀福岡長崎の13信用金庫お取引先が集合。
バイヤーとの商談もセッティング。
- 創業支援 新規のお店を開業や、会社を起業する場合の創業計画書の作成。
- 各種補助金申請支援 国・地方自治体の補助金申請支援を業務提携先と共に支援。
佐賀県中小企業診断協会とも連携。

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

クラウドファンディング の PR

【趣旨】

「夢を形にする」とは言うものの、何事も資金が無ければ活動は出来ません。

融資などで借りることも可能ですが、返済が必要であり躊躇する場合もあると思います。

そうした中、クラウドファンディングは寄付ですので、返済は不要です。

思い描く夢（事業）に共感した人たちが、その実現を応援する仕組みです。

「何をどうすればいいかわからない。」という方の為に、ブースにて説明を実施致します。

【手続きの流れ】

（株）Ready for と業務提携を締結しており、ご相談者に対して佐賀信用金庫が面談を

実施後 Ready for へ 橋渡しをする流れ。

寄付者への返礼品のブラッシュアップに関しても積極的に相談に応じます。

連絡先

佐賀信用金庫 地域支援部 次長 末兼 孝一 TEL 080-5805-6309

アドレス sg_shien98@sagashin.co.jp

株式会社戸上電機製作所

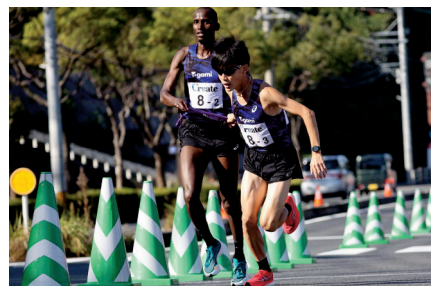
企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

当社は1925年に「配電線用昼夜間自動切換開閉器」の製造販売を目的に創立し、以来、電気の安定供給を支えるメーカーとして歩み続けています。

おかげさまで2025年3月に創立100周年を迎えます。これもひとえに、皆さまのご指導ご鞭撻の賜物と、厚く御礼申し上げます。

さて当社には、全国大会への出場経験もある陸上競技部、野球部、バレーボール部などの部活動があり、日々競技力の向上に努めております。

特に陸上競技部については近年強化を進めており、お正月に開催されるニューイヤ一駅伝や東京マラソン等全国レベルの大会で活躍しております。



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

足が速くなりたい。何かスポーツを体験したい。そんな子供たちのために、もしかすると当社の陸上競技部がお役に立てるかもしれません。走り方の基本動作や、楽しく体を動かすことを学んで貰うための陸上教室はいかがでしょう。

「走る」ということに関して、地域で取り組みを検討されているなら、当社の陸上競技部がお手伝いします。



連絡先

〒840-0802 佐賀市大財北町1-1
株式会社戸上電機製作所 管理本部総務グループ
担当： 平原、安藤
TEL： 0952-25-4120 FAX： 0952-26-4594
E-MAIL： hirahara@togami-elec.co.jp

株式会社ミズ

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

地域の方々の健康を応援！

健康講座・測定会 各種開催

◆講座 講師料
60分・90分/回（有料 要相談）

※講座内容によって別途材料費がかかる場合がございます。

健康運動講座



座学で体や健康についての知識を学び、実践で楽しく体を動かします！
○スボラ筋トレ ●コグニサイズ ●リズムフィットダンス ●ほくストレッチ ●リラクゼーションストレッチ ●歩き方講座 など

講師：株式会社ミズ 健康運動指導士

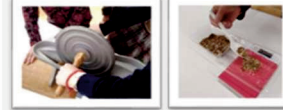
健康料理教室



認知症予防、介護予防、減塩、野菜たっぷり、たんぱく質などのテーマに沿って開催しています。料理だけではなく、知って得する栄養情報も満載！ミズ管理栄養士オリジナル美味しくて簡単レシピも配布しています。

講師：株式会社ミズ 管理栄養士

漢方ワークショップ



地域公民館で特に人気の講座★
普段なかなか触れることのない生薬（漢方薬）を使って、手先と五感をフル活用し、自身の体質などに合わせたオリジナルのお茶、入浴剤、お風呂湯をつくります。

講師：漢方みず堂 漢方相談員

日常生活で役立つ！
「健康寿命の延伸」を目指す

“楽しい”

実践型の健康講座を実施しています！



ロコモスキャン 下肢筋力測定

身体の中でもっとも大きい大腿四頭筋（だいたいしとうきん）その筋力を数値測定する機械です。今の体の状態も知ることで、体力維持、運動継続の意識づけに繋がります。



地域の方々の暮らしに寄り添います 暮らしサポート事業

調剤薬局事業のみならず、包括的な生活支援を通じて、皆様のお役に立つ企業を目指しています。

◆自然災害に備える

一残念ながら今や、いつ・どこで・誰が自然災害に遭ってもおかしくない世の中です。
『備えあれば憂いなし』災害用保存食の納品も行っています。



◆その他、『困った…』を解決します

—「この商品欲しいんだけど、どこにあるのかな…」「どこにも置いてないと言われて困った…」ということはありませんか？そんな時は、ぜひミズに一度ご相談ください！



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

＼ミズ・溝上薬局は目指しています！／

地域の方々とともに、 佐賀県を健康長寿日本一に！



人生100年時代。いつまでも健やかにいきいきと暮らすには…

体を変える

運動

ちょっとした少しの運動でも継続して行うことが良い！

食事を変える

栄養

バランスの良い食事を摂り口腔機能を維持！

生活を変える

社会参加

自分にあつた活動を見付け前向きな気持ちで参加！

この3つの実践がとっても大事！



医師・作家 鎌田實

ミズ・溝上薬局では、鎌田實の「がんばらない健康長寿実践塾」を発足5年！

当塾では、佐賀県が健康長寿日本一になることを目指し、長野県の諏訪中央病院名誉院長 鎌田實先生による健康指導を行っています。

健康に、楽しく、長生き 一緒に目指してくれる 塾生さんを募集しています!!

塾生さんは
1000名以上！

連絡先

(株)ミズ 本社 ☎0952-22-7974
経営企画部 地域連携グループ 山元・田中まで

明治安田生命 佐賀支社

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

明治安田生命佐賀支社では『ひとに健康を、まちに元気を』スローガンに
二大プロジェクトを展開しています。

＜みんなの健活プロジェクト＞ 健康をいっしょに育てよう
もしもの時の保障だけでなく、日常の運動機会の提供から
病気の早期発見・進行予防まで人生100年時代の健康
づくりのため各種健康セミナー、ウォーキングイベント等
開催し健康づくりをサポートしています。

＜地元の元気プロジェクト＞ 今日誰かとつながる地域社会を

地元がいつまでも活気あふれる場所であるように

ひとに、職場に、まちに『つながり』を提供し、継続的な発展をサポートします。

現代ではコミュニケーションが多様化する一方で地域社会において人と人とのつながりの
希薄化が心配されています。明治安田生命では自治体、公民館、道の駅などの地域と連携した
取組やスポーツの応援を通じて、地域のみなさま同士が安心してつながる機会を提供し
地域のみなさまとの交流を助け、深めてまいります。



サッカー教室・ゴルフ教室

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

現在、明治安田生命は佐賀市様と**健康増進・子育て・介護認知症**の三分野で

『健康増進に関する包括連携協定』を結ばさせていただきました。
当社のMYリンクコーディネーターが佐賀市内のお一人おひとりのニーズにあわせた

『行政サービス』をご案内しています。みなさまの興味があること、
お困りごとがあれば教えてください。

また、当社では佐賀市内全域の公民館、道の駅と連携し
各種イベント（Jリーグウォーキング・サッカー教室・
血管年齢測定会）や『睡眠と健康の知恵袋』『認知症予防』
『人生100年時代を生きる』等の様々な講座も開催して
おりますので、今後も定期的開催し貢献していきたいと
思っています。



血管年齢測定会開催

連絡先

明治安田生命 佐賀北営業所
〒840-0816 佐賀県佐賀市駅南本町3-15
明治安田生命佐賀ビル7F
TEL (0952) 26-8165
FAX (0952) 22-1670

活動の紹介

大学



大
学

佐賀女子短期大学

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

佐賀女子短期大学は2024年に創立68年（学園創立からは128年）を迎えます。現在は、こども未来学科、地域みらい学科の2学科7コースで、地域に根ざす専門人材育成のための教育を展開しています。

こども未来学科：こども保育コース・こども教育コース・こども養護コース
地域みらい学科：韓国語文化コース・グローバル共生ITコース・司書アーカイブズコース
福祉とソーシャルケアコース

現代社会を突破していく力を身につける教育に力をいれており、地域に根づく専門職人材（保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・養護教諭・介護福祉士・司書など）の養成、さらにはこれからのグローバル社会に対応する力を身につけるため、英語や韓国語等の語学を学ぶコースがあり、留学を経験する学生が多くいます。
また、多くの国からの留学生も受け入れており、学内もグローバルです。



まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

佐賀女子短期大学では、地域の方と一緒に活動することで、学生の学びを深める授業などを展開しています。地域の方の抱える課題や要望を学生と一緒に学べる機会を増やしていきたいと思っています。社会の現状を学生が身をもって体験し、理解できる機会を求めています。また、短大の持つさまざまな資源を社会の課題解決に役立てていきたいと思っています。



ただし、団体の方々や自治体等から学生ボランティア等の協力依頼を受けても、実習や補講等で期待に添えない場合もあり、心苦しいこともあります。学生は授業が中心となる部分だけ、ご理解いただければ幸いです。

連絡先

佐賀女子短期大学

0952-23-5145（代表） e-mail : nyushi@asahigakuen.ac.jp（代表）担当：社会産学連携室

<http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/>

国立大学法人 佐賀大学

企業や NPO 等の得意なこと（活動内容など）

佐賀大学は教育学部、芸術地域デザイン学部、経済学部、医学部、理工学部、及び農学部の 6 学部を保有し、学生数は約 6,600 名(学部約 5,800 名、大学院約 800 名、2023 年)です。

本庄キャンパス、鍋島キャンパス、有田キャンパスの他、佐賀県内に唐津市、伊万里市、鳥栖市等にも関連施設を保有しています。

世界に誇れる研究として代表的なものは、さがんルビー(グレープフルーツの一種)を始めとするミカン亜科植物や高オレイン酸大豆等の植物遺伝子資源、究極の半導体と呼ばれるダイヤモンド半導体、海洋温度差発電、全国ランキング 1 位の実績を持つ人工股関節置換術等に係る研究が挙げられます。また、地域と密接に連携した研究では、鹿島市における伝統的街並みや集落調査等を地域活性化に繋げる研究を実施し、同市の内閣総理大臣賞受賞に貢献いたしました。

2021 年 9 月に本庄キャンパスにオープンした**産学交流プラザ**(右写真)は地域団体や企業等と大学との交流の拠点として活用されています。当プラザには、地域団体や企業等との主たる連携窓口となるリージョナル・イノベーションセンターの他、佐賀大学発ベンチャーを支援するためのインキュベーション・ルーム、共同研究契約の手続き等の事務処理を行う社会連携課、及び外部資金申請支援等を行う研究推進課、研究成果の PR を担う広報室等が一堂に入居しており、地域の自治体や企業、各種団体等との連携に関する実務をワン・ストップで実施できるような工夫がなされています。



産学交流プラザ外観

(本庄キャンパス・
県道 54 号線側から)

また、当プラザには最新の研究成果や佐賀大学の沿革を分かりやすくご紹介するインフォメーション・コーナーも併設しています。

多くの皆様のご来訪をお待ちしています。

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動

本学では地域団体や企業等の様々な課題解決に資する研究や取組を推進しております。課題解決を目指したプロジェクトの実施については、技術相談やお問い合わせが契機となることが多くあります。ご相談をお受けした場合には URA[*]が課題の分析を行い、該当する専門性を持った教員との研究体制構築を検討します。([*]リサーチ・アドミニストレーター)

ここで、地域団体や企業との連携の形態については、実験やデータ解析を中心とした通常の研究ばかりでなく、地域の皆様との協働による街作りに係るプロジェクトも実施しています。これらのプロジェクトの内容に添った契約とできる様に、複数の連携制度を整備しています。

具体的には、教員の専門的知見に基づいて研究開発上の助言等を行うことを主とした「学術コンサルティング」、研究活動を共同で行う「共同研究」、地域団体や企業等の課題に係る研究を大学側で実施する「受託研究」、企業の研究者が特任教員として大学に常駐し研究を実施する「共同研究講座」等があります。今回の展示では大学との連携についてのご相談窓口やプロジェクト実施までの流れを分かりやすくご紹介することと致しており、現在何らかの課題があり、本学との連携を検討されている場合は、ブースにてお問い合わせ下さい。

連絡先

佐賀大学リージョナル・イノベーションセンター
〒840-8502

佐賀市本庄町 1 番地 産学交流プラザ 101 号室

TEL : 0952-28-8718/FAX : 0952-28-8186

E-mail : suric@ml.cc.saga-u.ac.jp

西九州大学・西九州大学短期大学部

企業やNPO等の得意なこと（活動内容など）

西九州大学・西九州大学短期大学部は健康スポーツ・栄養・社会福祉・リハビリテーション・教育等を学ぶ学科・コースで構成されており、それぞれの専門性を活かした地域支援活動を実施しています。これまでに地域で実施した取り組み事例は以下のとおりです。

- ・健康チェック、脳トレ体験
- ・スポーツレクリエーション
- ・子ども向け体験ワークショップ
- ・異文化コミュニケーション
- ・サロン活動
- ・親子いきいき広場
- ・放課後児童クラブ
- ・その他



また、西九州大学グループ附属『健康福祉・生涯学習センター』では地域の高齢者のみなさまに学習の場を提供しており、大学教員の授業、大学生・短期大学生との交流活動を行っています。

まちづくり協議会・地域の団体と一緒にやりたい活動



- ・子育て支援に関する啓蒙活動
- ・SDGs 推進のための実践活動
- ・企業や自治体からの受託研究
- ・多文化共生に向けた協議、異文化理解
- ・多言語・多文化紹介活動を通じた異文化交流
- ・健康、栄養、社会福祉、リハビリテーション、子ども教育等に関する教育・研究活動

連絡先

西九州大学 神崎市神崎町尾崎 4490-9 TEL : 0952-52-4191 (代表)

西九州大学短期大学部 佐賀市神園 3-18-15 TEL : 0952-31-3001 (代表)

関連資料

佐賀市まちづくり自治基本条例

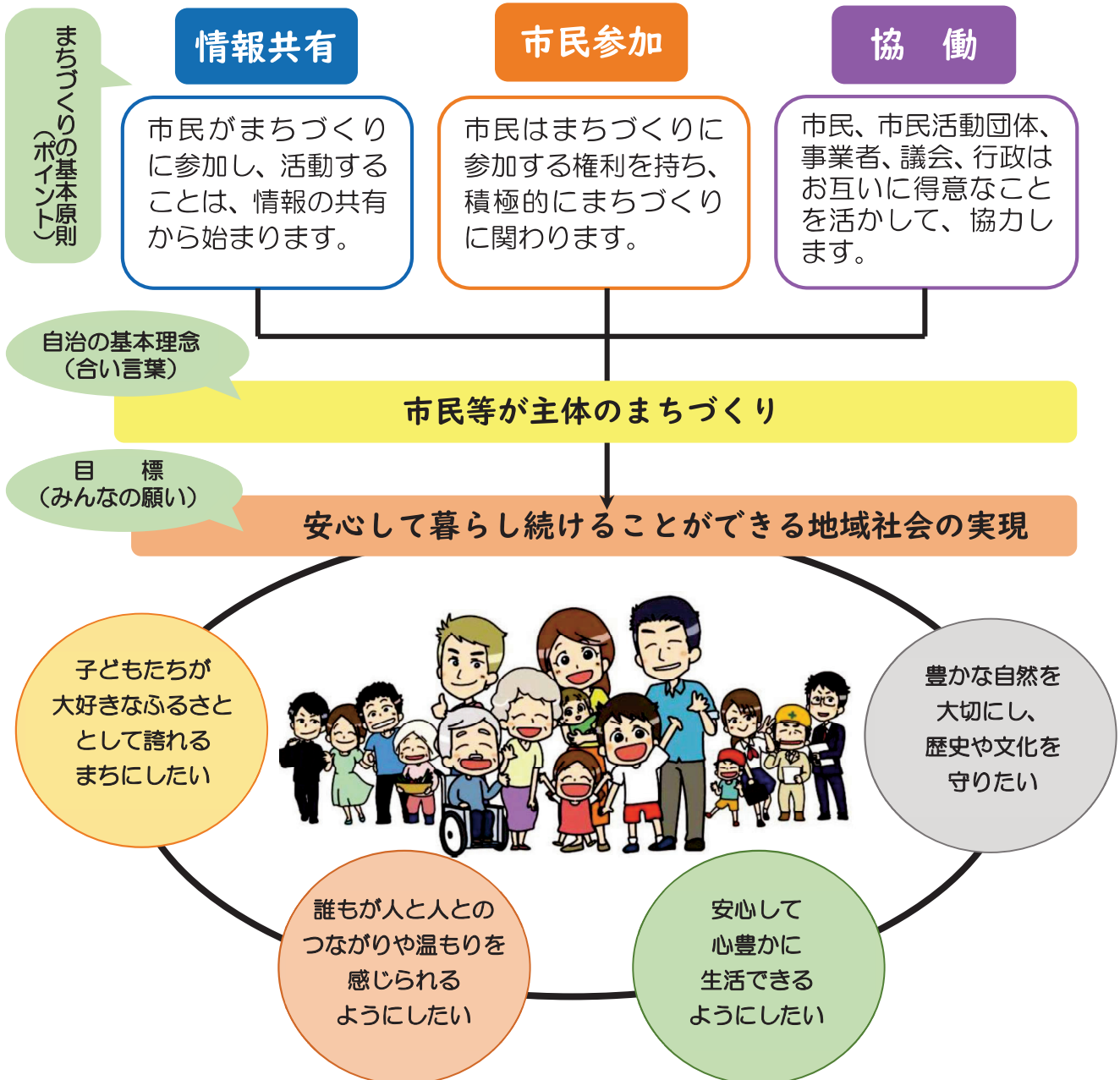
～できることから始めよう！みんなでまちづくり～

「佐賀市まちづくり自治基本条例」とは？

みんなでまちづくりを進めるためにつくられたもので、自治の基本理念とまちづくりの基本原則を明確にし、市民の権利や市（行政等）の役割、仕組みなどを定めた「まちづくり」を進めていくためのルールです。

佐賀市では、様々な地域課題の解決に向けて、市民の皆さんと一緒に取り組んでいこうと「佐賀市まちづくり自治基本条例」を平成25年8月に制定し、平成26年4月から施行しています。

～まちづくり自治基本条例のポイント～



それぞれの得意分野を活かし、みんなで進めるまちづくり

- お互いに情報を共有して、協力しながらまちづくりを進めていきましょう。
- 市民、市民活動団体、事業者、議会、行政はそれぞれの役割を果たしながら、まちづくりを進めます。



この条例は、佐賀市のまちづくりのルールとして、みんなで共有して、行動していくためのものです。一人ひとりが心に留めて、そして、少しずつ行動することでよりよいまちへと近づいていきます。安心して暮らし続けることができる佐賀市を実現するために、まずは、身近な地域の活動から始めていきましょう。

佐賀市まちづくり自治基本条例の「漫画版パンフレット」の内容を改訂しました！

子どもの頃からまちづくりに興味を持ってもらえるよう作成している漫画版パンフレットを、中学生を主人公とした内容に改訂しました。佐賀市ホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください！

■漫画版パンフレット設置場所

協働推進課、市民活動プラザ、市立公民館など
※佐賀市内の全中学校の2年生にも配布しています。



漫画版パンフレット▶

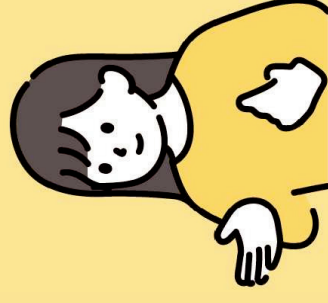


みんなで「まちづくり」を進めていくことが大切であるということを市民のみなさんに知っていただくために、「佐賀市まちづくり自治基本条例」に関する職員出前講座を実施しています。お気軽に協働推進課まで問い合わせください。

▶大学での出前講座

※①～④の全ての欄に記入をお願いします。

4マス自己紹介



①所属団体

②氏名

③マイブーム

(好きなこと、ハマっていること、趣味、特技など)

④今日期待すること

(こんな人・団体と出会いたい、こんなことを知りたいなど)

ここからはじまる「人と人がつながる」コミュニティ

つながる
さがし



<https://tsunasaga.jp/>

つながるさがし

検索

佐賀市 地域振興部 協働推進課・公民館支援課

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1-12 佐賀商工ビル 7F

T E L	協働推進課	市民活動推進係	0952-40-7078
		地域コミュニティ室	0952-40-7039
	公民館支援課	公民館支援係	0952-40-7370
		施設整備係	0952-40-7366
F A X	0952-40-7385		
E-Mail	協働推進課	kyodo@city.saga.lg.jp	
	公民館支援課	kominkan@city.saga.lg.jp	
H P	http://www.city.saga.lg.jp		